

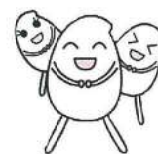
平成26年度  
岡山市ESD・ユネスコスクール推進校

# 研究集録

「人・社会・自然など自分とのつながりに関心を持ち、  
主体的に関わろうとする子どもの育成」  
～生活科・総合的な学習の時間を中心にして～



岡山市立第三藤田小学校





# 目 次

|    |  |    |
|----|--|----|
| 1  | はじめに   | 1  |
| 2  | 研究計画   | 2  |
| 3  | 研究概要   | 3  |
| 4  | 6年間のプロジェクトデザイン                                 | 9  |
| 5  | 生活科・総合的な学習の時間で育みたい力                            | 10 |
| 6  | 聞く・話す力の系統表                                     | 11 |
| 7  | 授業実践   |    |
|    | ○生活科の授業実践                                      |    |
|    | 1年生 生活科「いっしょにあそぼう」                             | 13 |
|    | 2年生 生活科「うごくうごくわたしのおもちゃ」                        | 23 |
|    | ○クロスカリキュラムによる授業実践                              |    |
|    | ●食に関する指導                                       |    |
|    | 3年生 総合的な学習「三藤のお宝をさがそう<br>～三藤のお宝発見！～」           | 29 |
|    | 5年生 総合的な学習「プロジェクト八十八<br>～20年後の藤田の米作りについて考えよう～」 | 41 |
|    | ●国語  |    |
|    | 5年生 国語「すいせんします」                                | 50 |
|    | ●道徳  |    |
|    | 6年生 道徳「今、私たちにできること」                            | 54 |
|    | 4年生総合的な学習の時間単元構想・ESDカレンダー                      | 59 |
|    | ○初任者研修の授業実践                                    |    |
|    | 4年生 国語「ごんぎつね」                                  | 61 |
|    | 6年生 学級活動「メディアと健康」                              | 65 |
| 8  | 評価規準   | 68 |
| 9  | ESDに関するユネスコ世界会議サイドイベント児童発表（6年）                 | 70 |
| 10 | ユネスコスクール全国大会 テーマ別交流会発表                         | 81 |
| 11 | 研究のまとめ   | 89 |
| 12 | おわりに   | 91 |

## はじめに

平成23年度に藤田中学校区4校は、岡山市地域協働学校に指定され、はや4年が終わろうとしています。地域協働学校に指定される時期を前後して、藤田中学校区ではESDを視点とした「岡山型一貫教育」の研究開発にも取り組んでまいりました。

そのような中、平成26年度は11月に「ESDに関するユネスコ世界会議」が岡山市で開催されましたが、本校もそのサイドイベントにて研究成果の一端を検証する貴重な機会を与えていただきました。衷心より感謝いたしております。

当日は、日本全国のESD関係者はもとより世界各国の多数の皆様方にご傾聴いただき、本校の実践についてご協議・ご助言をいただくことが出来ました。さらに、翌日の第6回ユネスコスクール全国大会（テーマ別交流会）では、事例発表・研究協議にも臨み、いまでの本校の研究のあゆみを検証・提言しつつ、今後の研究の指針をいただくこともできました。偏に、岡山大学大学院教育学研究科 ESD協働推進室教授 川田 力 先生並びにコーディネーター 柴川 弘子 先生をはじめとし、岡山市教育委員会指導課の先生方に研究の様々な場面で貴重なご助言・ご指導をいただいた賜と、感謝しております。

そのような研究の一端をまとめさせていただいたものが、本小冊子です。

ESDの視点に立った学習指導といえは、教科・領域を越えての、いわゆるクロスカリキュラムにおける位置づけでの実践がよく見受けられますが、本校ではその位置づけを「教科指導（総合的な学習の時間）における、育みたい態度・能力」として研究・授業実践をしてまいりました。様々な教科や領域で「習得した学力」を、総合的な学習の時間という「探求」の場で、「活用させていく」という「習得と探求・活用」のサイクルで捉えました。低学年の生活科にも当てはめて、研究を進めてきたところです。

さらに、一つの学年の一つの学習（単元）でのみ完結させるのではなく、小学校6年間を通じてのプロジェクトとして授業デザインをしてまいりました。それは、「いのちの学習」という大きなテーマの下、「宝物プロジェクト」と「幸せプロジェクト」でデザインすることで、「様々なつながりの中から自分を見つめ直し、生き方を考えていくことのできる子ども」をめざしています。

平成32年度を目標に新学習指導要領の施行が計画されるなか、キーワード「アクティブラーニング」が中教審の諮問の中に挙げられています。諮問での解説には、「課題の発見と解決に向けての主体的・協働的に学ぶ学習」のことと述べられています。

さらに、「何事にも主体的に取り組もうとする意欲や多様性を尊重する態度、他者と協働するためのリーダーシップやチームワーク、コミュニケーションの能力、さらには豊かな感性や優しさ、思いやりなどの豊かな人間性の育成」をめざすとされ、まさに本校が求め、実践している授業と方向性を一にするものと確信しているところです。

今後も藤田地区では、保育園・小学校・中学校さらに県立高等学校との連携も大切にしながら、校種・教科を超えての授業公開や研究協議を行うことで、「学びの連続性」を大切にしながら、「岡山型一貫教育」を推進するべくESDの視点に立った教育活動を中心にすえ、中学校区協働で研究をさらに深化させていきたいと考えています。

最後になりましたが、岡山市ESD世界会議推進局の皆様方にも大変お世話になりました。今後とも、ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

平成27年3月

岡山市立第三藤田小学校長 矢 吹 憲 策

## 平成26年度 校園内研究の計画

|      |       |     |
|------|-------|-----|
| 岡山市立 | 第三藤田  | 小学校 |
| 校園長名 | 矢吹 憲策 |     |

| 中学校区の研究主題  | 学校園の研究主題  |
|--|---|
| つながり 感じ 高める 子の育成をめざして  | 人・社会・自然などと自分とのつながりに関心をもち、主体的に関わろうとする子どもの育成<br>～生活科・総合的な学習の時間を中心にして～       |
| <b>校園内研究の研究計画、内容</b>   |   |
| <b>&lt;計画&gt;</b>  |   |
| 4月   | 研究の進め方についての提案<br>ESDについての研修 藤田地区ESD連絡会（中学校区の研究の進め方について協議）                 |
| 5月   | 学習についてのアンケート1回目 藤田地区3小学校担任打合せ<br>教材研究 単元構想の見直し                            |
| 6月   | 教材研究 指導案検討 研究授業   |
| 7月   | 藤田中学校研修会参加 教材研究 指導案検討 研究授業  |
| 7～8月   | 生活科年間計画見直し 教材研究 指導案検討 「聞く・話す力」の系統表作成<br>食に関する指導の全体計画及び年間計画見直し 藤田中学校区合同研修会 |
| 9月   | 教材研究 指導案検討 研究授業   |
| 10月  | 教材研究 指導案検討 研究授業 第一藤田小研修会参加  |
| 11月  | 教材研究 指導案検討 研究授業 生活科研究発表会  |
| 12月  | 学習についてのアンケート2回目 教材研究 指導案検討 研究授業   |
| 1月   | 教材研究 指導案検討 研究授業 食育研究発表会   |
| 2月   | 各種年間計画の見直し 藤田地区実践発表会 研究のまとめ作成   |
| 3月   | 学習に関するアンケート3回目 来年度の研究について   |
| <b>&lt;内容&gt;</b>  |   |
| <p>本校では平成23年度にESD・ユネスコスクールの指定を受け、中学校区でめざす子ども像を設定して、生活科および総合的な学習の時間を中心に研究を進めてきた。本年度も引き続き上の主題で研究を進めていく。</p> <p>これまで藤田中学校区3校の小学校では各学年のテーマを設定し、それぞれ単元構想図、ESDカレンダー「育みたい力」の系統表を作成し、研究に取り組んできた。今年度は縦と横の系統をもたせ、藤田中学校区9年間の「育みたい力」の系統表を作成し、取り組んでいきたい。</p> <p>また、昨年度の反省から、「各教科で培うべき力が十分についていないため、活用するまでには至っていない」という課題が明確になった。そこで今年度は、実践を通し、次の点について研究を進めることとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に「学習についてのアンケート」を実施し、「コミュニケーション力」について児童の実態を把握する。学期に1回ずつ行うことで、どの力が伸びたかを検証する。</li> <li>・国語を中心に、「聞くこと・話すこと」で培いたい力の系統表を作成し、それを意識して授業を進めることで、コミュニケーション力を育てる。</li> <li>・授業研究を通して、各教科とのつながりを意識した授業作りについて研究を深める。</li> <li>・中学校区の合同研修会に参加しあうことで研究を深め、「育みたい力」の縦と横の系統考えていく。</li> </ul> |   |

| 項目             | ○ | 項目      | ○ | 項目        | ○ |
|----------------|---|---------|---|-----------|---|
| 幼児理解           |   | 特別活動    |   | 危機管理・安全指導 |   |
| 環境の構成          |   | 情報教育    |   | マネジメント    |   |
| コミュニケーション力     |   | 特別支援教育  |   | 岡山型一貫教育   | ○ |
| 思考力・判断力・表現力の育成 |   | 教育相談    |   | 地域協働学校    |   |
| 学ぶ意欲の向上        |   | キャリア教育  |   | ESD       | ○ |
| 道徳教育           |   | 人権教育    |   |           |   |
| 総合的な学習の時間      | ○ | 福祉教育    |   |           |   |
| 小学校外国語活動       |   | 健康教育・食育 | ○ |           |   |

研究対象の教科(小・中のみ○、複数回答可)

|     |    |    |       |    |    |    |       |       |      |        |
|-----|----|----|-------|----|----|----|-------|-------|------|--------|
| 全教科 | 国語 | 社会 | 算数/数学 | 理科 | 生活 | 音楽 | 図工/美術 | 技術・家庭 | 保健体育 | 外国語(中) |
|     |    |    |       |    | ○  |    |       |       |      |        |

指定等

| 年度   | 指定・主催 | 規模   | 教科等       | 会の名称        |
|------|-------|------|-----------|-------------|
| H23～ | 市教委   | 市    | 総合的な学習の時間 | ユネスコスクール推進校 |
| H26  | 小教研   | ブロック | その他       | 食育          |
| H26  | 小教研   | 市    | 生活        |             |
|      |       |      |           |             |

## 研究の概要

### <研究主題>

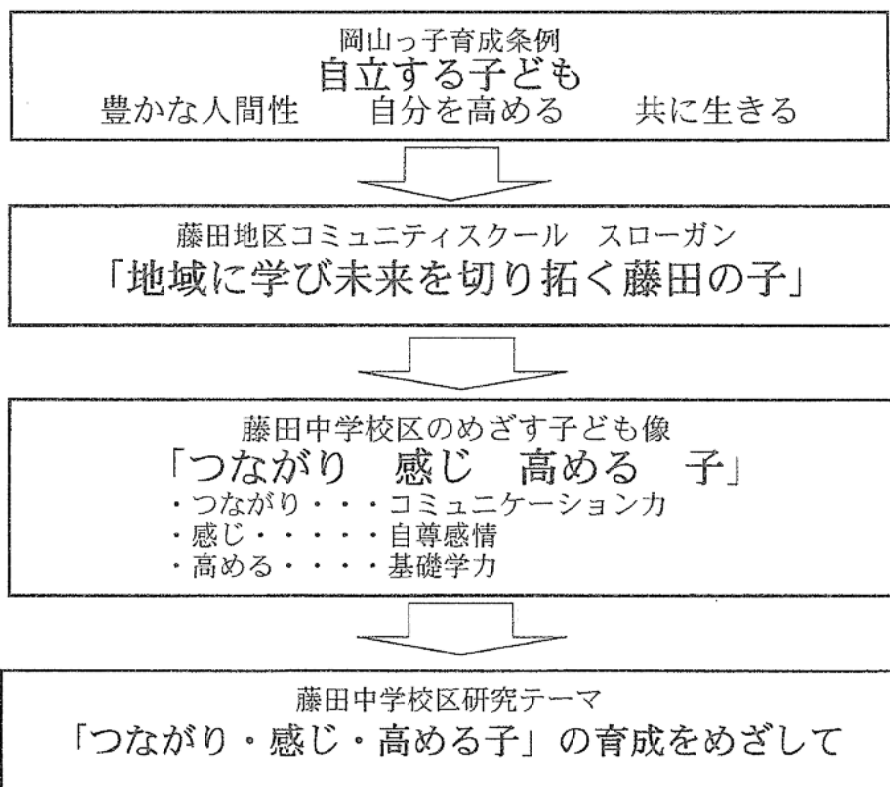
「人・社会・自然など自分とのつながりに関心を持ち、  
主体的に関わろうとする子どもの育成」

～生活科・総合的な学習の時間を中心にして～

## 1 主題設定の理由

### (1) 藤田地区ESDの概要

藤田地区のESD活動は、2008年に岡山市環境保全課と藤田公民館からの呼びかけで、藤田地区ESD連絡協議会が発足したのがはじまりである。その後、各校の総合的な学習の時間の年間計画について情報交換し、中学校区共通のめざす子ども像やテーマを決めて取り組んできた。さらに一昨年コミュニティスクールの指定を受け、地域の方の思いや願いをとり入れたスローガンを設定し、取り組んでいる。



### <藤田地区3小学校共通認識>

| 学年 | 共通テーマ      | めざす子ども像（もたせたい考え）               |
|----|------------|--------------------------------|
| 3年 | 藤田のお宝をさがそう | 藤田にはいいところやすごい人がいることに気づくことができる。 |
| 4年 | ゴミって何？     | 人や自然を大切にしたい思いをもつことができる。        |
| 5年 | 藤田に農業は必要か？ | 藤田に愛着や誇りをもつことができる。             |
| 6年 | 幸せって何？     | 多様な価値観を知り、自分の生活を振り返ることができる。    |

## (2) 藤田地区の現状と児童の実態

藤田地区は岡山市の南西部、明治時代に児島湾の干拓によって造成された農業地域である。稲作はもちろん、玉ねぎ・れんこん・なす・レタスなど野菜の栽培も盛んである。大変な苦勞をして干拓地を農地に開拓してきた歴史があり、地域の方々の郷土への愛着や学校に対する思いは大変強い。しかし近年では、高齢化が進み、商業施設の立地や宅地開発など農地の非農業土地利用化が進んできている。

子どもたちは、藤田の特色について尋ねられるとすぐに、農作物や自然を例にあげるが、地域の農業や自然に対する関心は薄い。また、本校は小規模校でクラス替えがないため、子どもたちにとって新しい人間関係を築くことは苦手である。そのため、学校内では主体的に活動することができるが、一步外へ出ると、自分に自信がもてない子どもたちも多い。

## (3) 研究主題について

### ★地域の現状

- 地域への思いの強さ
- 地域の方のたゆまぬ努力や工夫
- △農業問題
- △高齢化と少子化

### ★児童の実態

- 素直でおおらか
- 家の手伝いがよくできている
- 与えられた課題にきちんと取り組もうとする
- △自分で計画を立てて学習するのが苦手
- △地域や社会で起こっている問題や出来事に関心が薄い
- △地域の行事への参加が少ない

E S D の視点に立った教育活動

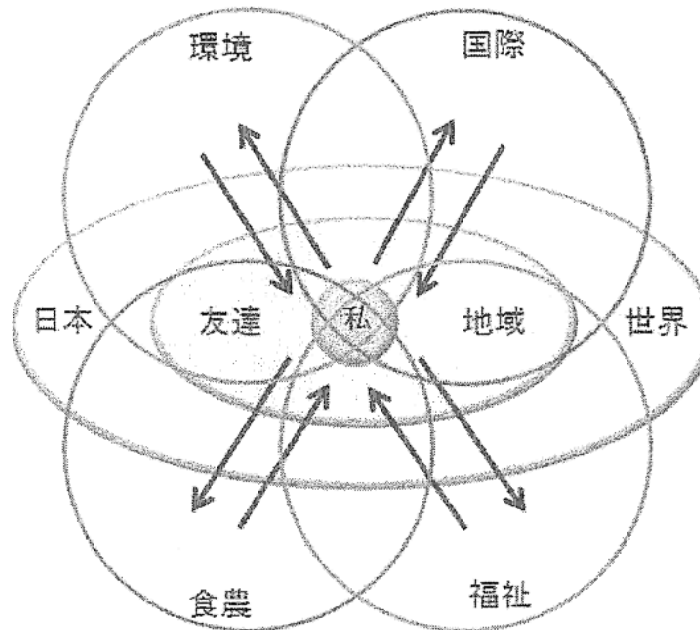
地域に学び、未来を切り拓く子  
↓  
持続発展可能な社会づくりの担い手

地域の方々が開拓し守ってきたこの藤田を、持続発展可能な地域としていくためには、藤田のよさをよく知り、藤田を愛する人を育てると同時に、E S Dの視点に立った教育の推進が必要である。教科や総合的な学習の時間の目標や学習内容を、持続可能な社会作りの構成概念である「多様性・相互性・有限性・公平性・連携性」の6つの要素に、本校独自の「郷土愛」を加えた7つの要素に基づいて捉えた上で単元構想を設計し、実践することにより、E S Dの視点に立った学習指導の展開が可能になると考えた。子どもたちは、この藤田の自然に囲まれ、地域の方々に支えられて生活している。「持続発展可能な社会づくりの担い手を育む」教育活動を行うことが、郷土を愛し、さまざまな「つながり」に気づき、自分を振り返ることのできる子どもを育てることにつながると考え、本主題を設定した。

## 2 研究内容

### (1) キーワードは「つながり」

本校の研究主題にある「つながり」とは、環境、社会、経済などの現代社会の問題を、一人ひとりが自らの課題として捉え、すべてのことは今の自分の生活とつながっていることに気づくことである。そしてその課題に対して、今の自分にできることは何かを考え、実践していく中で、自分の生活を振り返ったり、自分の生き方について考えたりすることが、持続発展可能な社会をつくることにつながっていくと考えた。



### (2) 5つのつながり

#### 社会や自然などとのつながり

「人」「社会」「自然」など、現代社会の課題について追求していく中で、すべてのことは今の自分とつながっていることに気づき、生活を振り返ることができる単元づくりをする。

#### 学年のつながり

各学年の単元を大きく2つのプロジェクトと捉え、子どもたちに育みたい思いや価値観を縦の系統で考える。

- ・「宝物プロジェクト」
- ・「幸せプロジェクト」

#### 人とのつながり

学習の中で、意見交流や生の声にふれること、体験活動を行うことなどを通して、いろいろな人の考えや生き方にふれる場面を設定する。

#### 単元構想でのつながり

単元構想を  
「ふれる」→「つかむ」→  
「追求する」→「活かす」  
の4つの段階で構成し、子どもの意識の流れを考えた授業を展開する。

#### 各教科とのつながり

ESDカレンダーを活用し、クロスカリキュラムの授業を行うことで、各教科で培った力を、総合的な学習の時間に活用し、育んでいく。



### (3) 育みたい力

本校では、ESDの視点に立った学習指導で重視する7つの能力・態度を、「課題解決力」「実践力」「かかわる力」「コミュニケーション力」の4つに分類した。そして「課題解決力」「実践力」を「自分とのかかわり」、「かかわる力」「コミュニケーション力」を「他者とのかかわり」と捉えることにした。

#### <ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度>

|                  |  |
|------------------|--|
| ①批判的に思考・判断する力    | 合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜き、物事を思慮深く、建設的、協調的、代替的に思考・判断する力   |
| ②未来像を予測して計画を立てる力 | 過去や現在に基づき、あるべき未来像（ビジョン）を予想・予測・期待し、それを他者と共有しながら、ものごとを計画する力  |
| ③多面的、総合的に考える力    | 人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かかわり・ひろがり（システム）を理解し、それらを多面的、総合的に考える力  |
| ④コミュニケーションを行う力   | 自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的に、コミュニケーションを行う力         |
| ⑤他者と協力する態度       | 他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者との協力・共同してものごとを進めようとする態度       |
| ⑥つながりを尊重する態度     | 人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かかわりに関心を持ち、それらを尊重し大切にしようとする態度     |
| ⑦責任を重んじる態度       | 集団や社会における自分の発言や行動に責任を持ち、自分の役割を理解するとともに、ものごとに主体的に参加しようとする態度 |

#### 自分とのかかわり

課題を見つけ、追求する中で自分の考えをもつことができる。

社会の一員として自分にできる事を実践したり、学習で培った思いや考えを自分の生活に活かしたりすることができる。



|       |                 |
|-------|-----------------|
| 課題解決力 | 批判的に思考・判断する力    |
|       | 未来像を予測して計画を立てる力 |
| 実践力   | つながりを尊重する態度     |
|       | 責任を重んじる態度       |

#### 他者とのかかわり

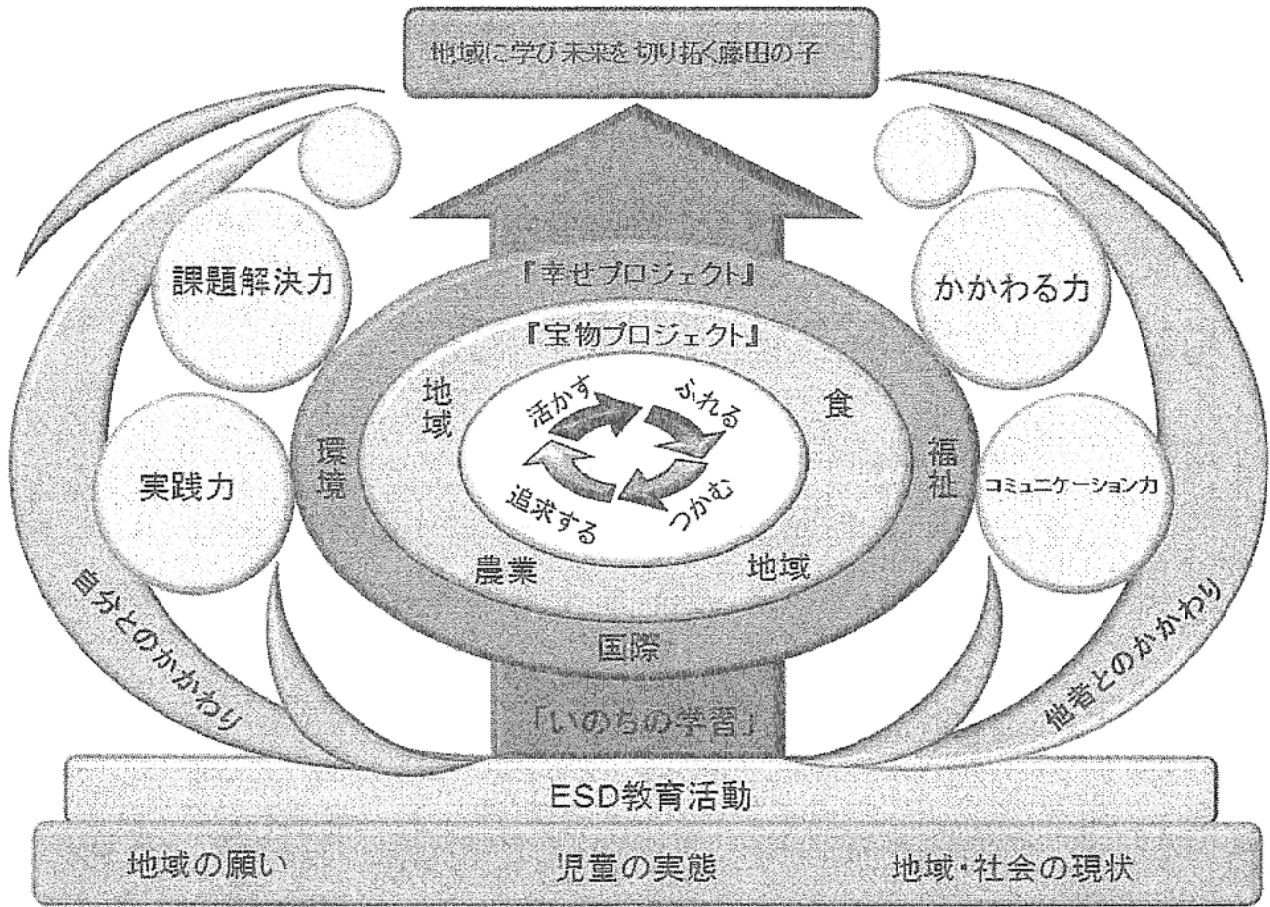
相手の立場や考えを理解しながら、自分の思いや考えを伝えることができる。

人々の工夫や努力に気づき、社会への関心を広げようとするすることができる。



|            |               |
|------------|---------------|
| かかわる力      | 多面的・総合的に考える力  |
|            | 他者と協力する態度     |
| コミュニケーション力 | コミュニケーションを行う力 |

### 3 研究構想図

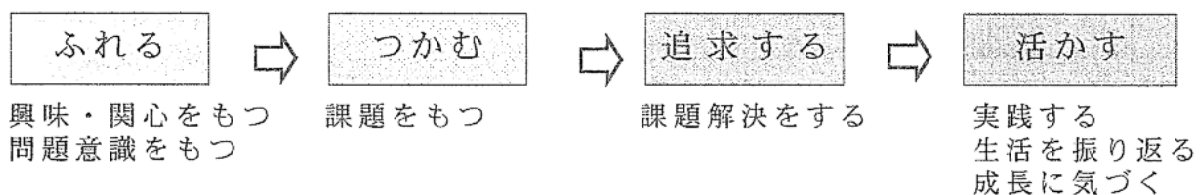


### 4 手だての詳細

#### (1) 単元構想の見直し

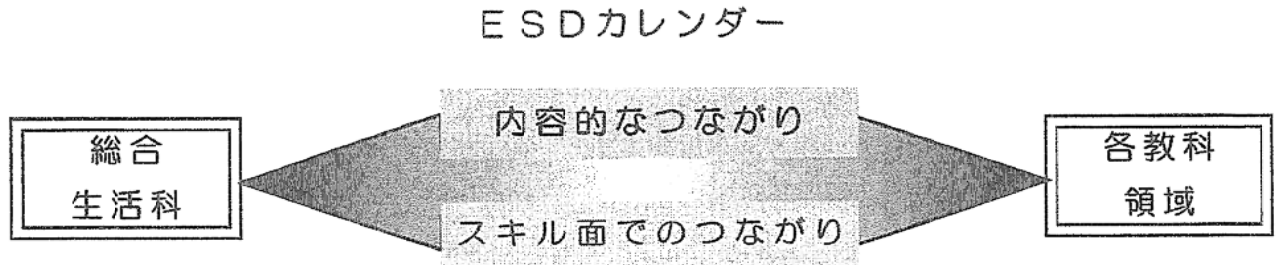
既存の総合的な学習の時間の単元を、ESDの視点に立って見直しを行った。「単なる体験活動に終わらず、探求的な学習になること」「自分の成長に気づいたり、自分の生活を振り返ったりできること」を意識して、新たに単元構想図を作成した。

また、児童が課題意識をもち、必然性をもって継続的・発展的に学習に取り組むことができるよう、「ふれる」「つかむ」「追求する」「活かす」の4つの段階を設けて単元を構成した。



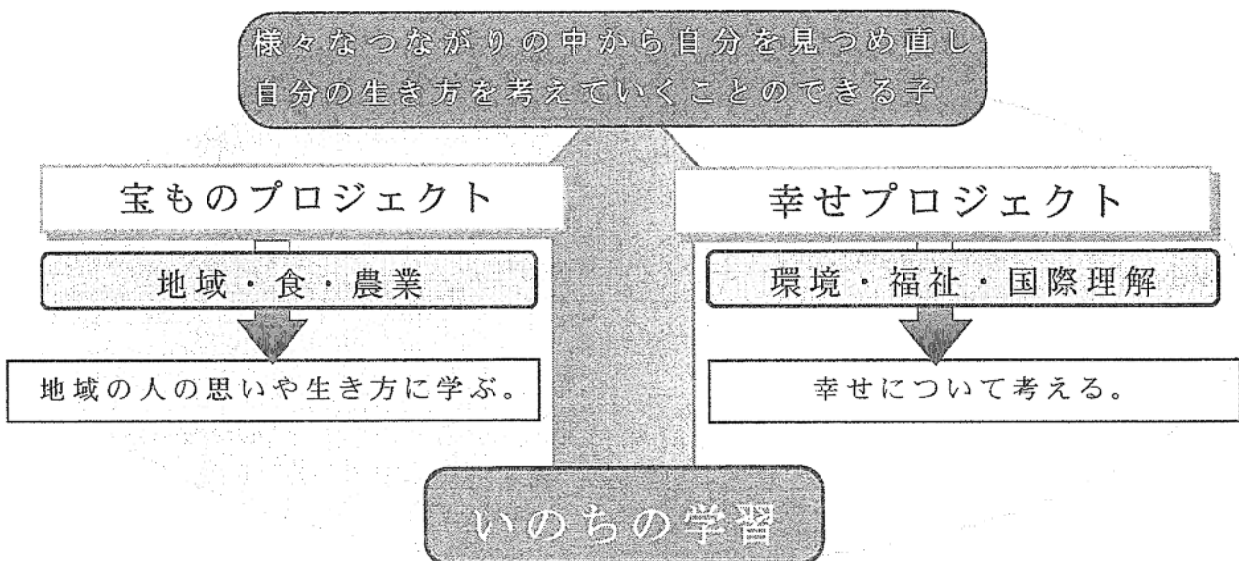
## (2) ESDカレンダーの作成

横断的・統合的な指導を行うためにESDカレンダーを作成した。ESDカレンダーは、「内容的なつながり」と「スキル面でのつながり」に分け、その根拠を明らかにすることで、見通しをもち、学習内容のつながりを考えながら授業を進めたり、培いたい力を意識して指導したりできるようにした。



## (3) 6年間を見通したプロジェクトデザインの作成

研究を進める中で、生活科・総合的な学習の時間の単元の中に、子どもたちに育みたい思いやもたせたい価値観のつながりがあることに気づいた。そこで各学年の単元を、大きく2つのプロジェクトと捉え、縦の系統を考えて6年間のプロジェクトをデザインした。それら2つのプロジェクトを通して、様々なつながりの中から自分を見つめ直し自分の生き方を考えていく「いのちの学習」を構築する。



## (4) 育みたい力の具現化と評価

めざす子ども像に近づくために育みたい力を見直し、低・中・高学年で系統性を考えて整理し、具現化した。

ねらいに迫る価値ある活動にするために、その単元でどの力を育みたいのかを明確にし、児童の具体的な姿を想定して授業を行う。また、課題づくりに十分時間を費やし、子どもの願いを大切にしながら学習を進めていく。それら进行评估することで、児童が自分の成長に気づくことができたり、評価を次の活動や指導に活かすことができるよう、研究を進めている。

# 第三 藤田小学校 6年間のプロジェクトデザイン

## 宝ものプロジェクト

地域・食・農業

地域の人々の思いや生き方に学ぶ。

## いのちの学習

## 幸せプロジェクト

環境・福祉・国際理解

幸せについて考える。

1年生  
単元名「いっしょにあそぼう」

2年生  
単元名  
「おいしくそだてわたしの野菜い」  
「うごくうごくわたしのおもちゃ」

☆自分たちが支えられていることに気づく

- ◇老人会の方に音遊びを教えてください。
- ◇玉ねぎの苗植え、収穫をさせてもらう。
- ◇野菜の育て方について地域の農家の方に教えてください。
- ◇地域の方におもちゃ作りを教わったり、一緒に遊んだりする。



おじいちゃん  
おばあちゃんはずういなの。

4年生  
単元名「やさしいまちづくり」

☆藤田の自然や人を大切にしたいと思う

- ◇「自然や人にやさしいまち」とはどんなまちかを話し合う。
- ◇藤田について調べる。
  - ・いいところもあるけど、よくないところもあるよ。
- ◇各種教室に参加する。
  - ・こんな活動をしている人もいるんだ。こんな方法もあるんだ。
- ◇お年寄りや視覚障害者と交流する。
  - ・ぼくたちと同じだね。ただちょっと不便なだけなんだね。
- ◇自分たちにできることを考えて実践する。

自分たちの住む藤田は、やさしいまちになってるかな？



人や自然を気遣う気持ちが大切なんだな。ぼくたちにもできることを身近なことから考えよう。

藤田の宝物って何だろう？

3年生  
単元名「三藤のお宝をさがそう」

☆地域に愛着をもつ

- ◇藤田の宝物について話し合う。
- ◇藤田の農作物や名人について調べる。
  - ・おいしい野菜をつくるために努力や工夫をしてくれている。
  - ・藤田の野菜がおいしい理由。
- ◇JA女性部の活動の意味を考える。
- ・いい物を作ったり誰かに喜んでもらうために努力をしている人たちがいる。それって名人さんも同じだね。



藤田で作られているたくさんの農作物や、努力を続けている人が宝物なんだね。

20年後の藤田の米作りがもっとよくなるためにはどうすればいいんだろう？

5年生  
単元名「プロジェクト八十八」

☆地域に誇りをもつ

- ◇藤田に農業は必要か話し合う。
- ◇農業のよい点や問題点から課題をもつ。
  - ・いいところもたくさんあるけど、高齢化や後継者問題などもあるんだ。何とかならないかな？
- ◇20年後の藤田の米作りについて考え、提案書を書く。
- ◇農業後継者と意見交換をする。
  - ・作業が楽になるとかじゃなく、消費者のために安心して安全な米作りをめざしているんだね。
  - ・販売する人、機械を開発する人、私たちが食べる人・・・みんな農業とつながっているんだ。
- ◇自分たちにできることを考えて実践する。

生産者も消費者も幸せになれる農業がいいな。農作物を食べて生活している私たちも農業とつながっているんだね。

途上国の子どもたちは不幸だと思っていたけど、なぜ笑顔なんだろう？



6年生  
単元名「幸せって何？」

☆多様な価値観を知る

- ◇「幸せ」について話し合う。
  - ・幸せと思うことは他の国の人も同じなのかな？
- ◇世界の諸問題について調べる。
- ◇ハートオブゴールドの方からカンボジアの現状について話を聞く。
  - ・カンボジアの人たちのために何かしたいな。
- ◇1回目の物資支援活動をする。
  - ・生活に必要なものや足りないものを送ろう。
- ◇自分たちで考えて2回目の物資支援活動をする。
  - ・もっと喜んでもらえるものはないのかな？ぼくたちなら何がうれしいかな？
  - ・喜んでもらえてうれしいな。やっぴよかったな。
- ◇「幸せ」について考える。
- ・人によって「幸せ」と思うことは違うんだな。
- ◇自分の生活を振り返る。

私たちの生活も、世界の国々の人たちと、つながっているんだ。誰かの役に立つことで、自分も幸せになれるんだね。

☆この単元で育みたい思い  
(藤田中学校区共通)  
◇児童の活動  
・その活動で育みたい思い

様々なつながりの中から自分を見つめ直し  
自分の生き方を考えていくことのできる子

第三藤田小学校 生活科・総合的な学習で育みたい力

|          | 子どもの姿  | 育みたい力  | 低学年   | 中学年  | 高学年  |
|----------|--|--|---|--|--|
| 自分とのかかわり | <ul style="list-style-type: none"> <li>課題を見つめる</li> <li>情報を集める</li> <li>まとめる</li> <li>考えをもつ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>② 課題を見つけて、追求する力</li> <li>④ 調べた事実を整理して自分の考えをもつ力</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の思いや願いを実現するために工夫して活動することができる。</li> <li>○活動をしたり、気持ちを表現することができる。</li> <li>○地域の活動に参加したり、自分から参加することができる。</li> <li>○学習で培った自分の生活に活かす力</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の課題について、大まかな見通しを立てることができ、考えをまとめることができる。</li> <li>○地域へ目を向け、行動しようとする。</li> <li>○学習を通して培った自分の生活に活かすことができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分や学年全体の課題について見通しをもつて追求することができ、調べた事実を関連づけて自分の考えをまとめることができる。</li> <li>○社会の一員としてまわりに働きかけながら自分ができることをとらえ、考えや思いを自分自身の生活と重ねて、「これからはどうありたいか」など、自分の生活に活かすことができる。</li> </ul>                                   |
| 他者とのかかわり | <ul style="list-style-type: none"> <li>かかわる</li> <li>協力する</li> <li>気づく</li> <li>受け入れられる</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 相手のことを考え、かかわる態度</li> <li>③ 自分や相手の工夫や努力を認め、社会への関心を広げようとする態度</li> <li>④ 自分の考えや思いを相手に伝え、聞き、話し合う</li> <li>○発表する</li> <li>○発信する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のまわりの人から話を聞き、自分なりに整理して伝えることができる。</li> <li>○自分の意見を相手に伝え、相手の考えや意見を聞き、自分なりに整理して伝えることができる。</li> <li>○自分の考えや思いを相手に伝え、聞き、話し合うことができる。</li> <li>○自分の考えや思いを相手に伝え、聞き、話し合うことができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の立場や気持ちを理解し、かかわることができ、自分のまわりの人や自然に進んでかかわり、関心の対象を広げ、人々の工夫や努力に気づき、社会への関心を広げることができる。</li> <li>○目的や意図に応じて、資料を提示し、説明や報告をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすることができる。</li> <li>○互いの立場や意図をはっきりさせながら、話し合うことができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の立場や気持ちを理解し、かかわることができ、自分のまわりの人や自然に進んでかかわり、関心の対象を広げ、人々の工夫や努力に気づき、社会への関心を広げることができる。</li> <li>○目的や意図に応じて、資料を提示し、説明や報告をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすることができる。</li> <li>○互いの立場や意図をはっきりさせながら、話し合うことができる。</li> </ul> |

【資料】E S D の観点に立った学習指導で重視する能力・態度

|                   |  |
|-------------------|--|
| ① 批判的に思考・判断する力    | 合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜き、物事を思慮深く、建設的、協力的、代替的に思考・判断する力   |
| ② 未来像を予測して計画を立てる力 | 過去や現在に基づき、あるべき未来像（ビジョン）を予想・予測・期待し、それを他者と共有しながら、ものごとを計画する力  |
| ③ 多面的、総合的に考える力    | 人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かわり・ひろがり（システム）を理解し、それらを多面的、総合的に考える力   |
| ④ コミュニケーションを行う力   | 自分の気持ちや考えを伝え、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的に、コミュニケーションを行う力              |
| ⑤ 他者と協力する態度       | 他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・共同してものごとを進めようとする態度        |
| ⑥ つながりを尊重する態度     | 人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かわり・かかわりに関心をもち、それらを尊重し大切にしようとする態度 |
| ⑦ 責任を重んじる態度       | 集団や社会における自分の発言や行動に責任を持ち、自分の役割を理解するとともに、ものごとに主体的に参加しようとする態度 |

☆スピーチ・発表系列

| 学年 | つけたい力   | 聞くスキル  | 話すスキル   |  | 形態                         | 単元名   |
|----|---|--|---|--|----------------------------|---|
|    |   |  | 原稿作り  | 話し方  |                            |   |
| 1年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の話を、興味をもって聞く力。</li> <li>話す事柄を順序立てて、話す力。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の顔を見て聞く。</li> <li>最後まで聞く。</li> <li>相手の話を聞いて感想をもつ。</li> <li>聞きたいことは質問する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>2～3文程度で、観察したり経験したりしたことの中から、必要な事柄を選ぶ。</li> <li>絵や写真、実物を用意する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆつくり、みんなに聞こえる声で、丁寧な言葉で</li> <li>みんなの方を見て</li> <li>わけを話す。「どうしてかという」と…」</li> </ul>  | 1対1<br>1対複数                | わけをはなそう<br>こないしをみつけたよ<br>おはなしきいて<br>こればなんでしょう |
| 2年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の話を、大事などころを落とさないように興味をもって聞く力。</li> <li>相手に応じて話す事柄を順序立て、言葉遣いに気をつけて話す力。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>大事なことを落とさないように聞く。</li> <li>簡単なメモをとる。</li> <li>質問したり感想を言ったりする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>構成メモを作り、わかりやすい順序に並べる。</li> <li>はじめ「中」「おわり」と順序立てた発表原稿を作る。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>声の大きさや速さに気をつけてはっきり話す。</li> <li>原稿を見ずに、資料を見せながら話す。</li> <li>話し始めと終わりのことばを言う。</li> </ul>  | 1対1<br>1対複数<br>(4～5名のグループ) | ともさんはどこかな<br>はっぴょうしよう<br>きみたちは図書館たんていさん       |
| 3年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>わかったこと、考えたことについて遊道を立てて話す力。</li> <li>話の中心に気をつけて聞き、質問したり感想を述べたりする力。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>話し手が伝えたいこととは何かを考えながら聞く。</li> <li>よりくわしく知るための質問をしたり、自分と比べて感想を言ったりする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>関心のあることから話題を選ぶ。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>聞き手を意識した話し方をする。</li> <li>○相手を見て話す。</li> <li>○強調、間、相手を指し示す。</li> </ul>   | 1対複数<br>(4～5名のグループ)        | いつも気をつけよう<br>よい聞き手になろう<br>しりょうから分かったことを発表しよう  |
| 4年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>相手や目的に応じて理由や事例などを挙げながら、筋道を立てて話す力。</li> <li>話し方の工夫を考えて話す力。</li> <li>話の中心に気をつけて聞き、質問をしたり感想を述べたりする力。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>気づいたことや質問したいことを考えながら聞く。</li> <li>自分にとって大切な情報は何かを考えながら聞く。</li> <li>要点をメモしながら聞く。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>まとめや細み立てが分かるようにする。</li> <li>①要点メモを整理。</li> <li>②原稿を書く。</li> <li>③資料を作る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>聞き手を引きつける発表の工夫をする。</li> <li>○話し始めの工夫</li> <li>○資料の提示の仕方</li> <li>○言葉の抑揚、強調、間のとり方</li> </ul>   | 1対複数(グループ)<br>1対多数(クラス全体)  | つづけてみよう<br>だれもがわかり合えるように<br>聞き取りメモの工夫         |
| 5年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>収集した知識や資料を関連づけ、目的や意図に応じた構成を工夫しながら、適切な言葉遣いで話す力。</li> <li>話し手の意図を伝えながら聞き、自分の意見と比べて考える力。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>話し手の意図を伝え、自分の意見と比べながら聞く。</li> <li>○話し手の意図や目的「自分に伝えたいこと」「共に考えたいこと」など</li> <li>相手の話の内容を十分に聞き取る。</li> <li>○自分の考えと比べ、「共通点や相違点」、「関連して考えたこと」などを整理し、自分の考えをまとめる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じ、伝えるために収集した知識や資料を関連づけ</li> <li>事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫する。</li> <li>①目的、条件を考える。</li> <li>②事柄を挙げて理由を明確にする。</li> <li>③内容を整え、構成・表現を考える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じて構成を工夫して話す</li> <li>声の大きさや速さ、口調、表情</li> <li>資料の提示</li> <li>聞き手の注意を喚起する話し方</li> <li>聞き手に体験を想起させる話し方</li> <li>聞き手に共感や同意を求める話し方</li> <li>聞き手の思考を促す話し方</li> </ul> | 1対多数(学年全体など)               | ◎きいて、きいて、きいてみよう<br>◎すいせんします                   |
| 6年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を明確に伝えるために文章全体の構成の効果を考え、場に応じた適切な言葉遣いで話す力。</li> <li>聞き手の立場や考えを的確につかみながら聞き、自分なりの考えをもつ力。</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>話し手の意図を伝え、自分の意見と比べながら聞く。</li> <li>○話し手の意図や目的「自分に伝えたいこと」など</li> <li>相手の話の内容を十分に聞き取る。</li> <li>○自分の考えと比べ、「共通点や相違点」、「関連して考えたこと」などを整理し、自分の考えをまとめる。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見が説得力をもつように具体例や資料を積み、意見を明確に伝えるために文章全体の構成の列挙を考える。</li> <li>①意見</li> <li>②根拠となる出来事など</li> <li>③予感される反論と、それに対する答え</li> <li>④意見の繰り返し</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を、場に応じた適切な言葉遣いで話す。</li> <li>声量や抑揚、調子、速さ、間の取り方</li> <li>姿勢、視線、表情</li> <li>呼びかけのような話し方</li> <li>繰り返し</li> <li>資料の提示</li> </ul>                                     | 1対多数(学年全体など)               | ◎平和について考える<br>◎今、わたしは、ぼくは                     |

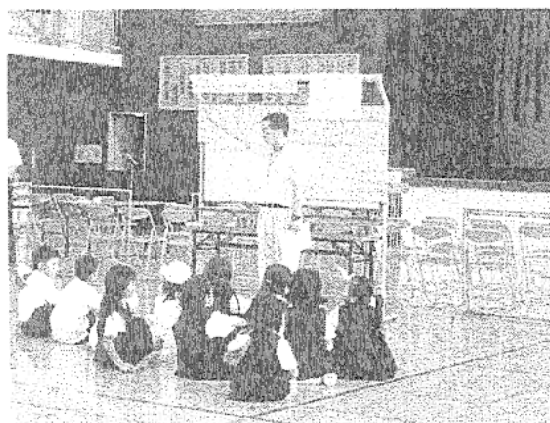
☆対話・話し合い系列

| 学年 | つきたい力  | 聞くスキル  | 話すスキル   | 形態         | 単元名  |
|----|--|--|---|------------|--|
| 1年 | ・互いの話をよく聞き、話題に沿って話し合う力。<br>・互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合う力。<br>・グループで話し合って考えを一つにまとめる力。            | ・わからないことは尋ね返す。<br>・うなずきながら聞く。<br>・話している人を見て聞く。<br>・最後まで聞く。<br>・わからないことは質問する。               | ・聞き手の方を向って話す。<br>・丁寧な言葉遣いで話す。<br>・話題に沿って話したり返したりする。   | 1対1        | ふたりでおぼなし<br>なんたいていだったらいのか<br>おみせやさんごっこをしよう |
| 2年 | ・互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合う力。<br>・グループで話し合って考えを一つにまとめる力。                                       | ・話している人を見て聞く。<br>・最後まで聞く。<br>・わからないことは質問する。  | ・話題に沿って話す。<br>・進んで意見を言う。<br>・考えを言うから理由を言う。<br>・聞かれたことに答える。<br>・司会を決める   | 4人程度のグループ  | みんなできめよう                                   |
| 3年 | ・互いの考えの共通点や相違点を考えながら話し合う力。<br>・司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合う力                               | 人の意見と自分の意見が同じか違うかを比べながら聞く。   | ・意見と理由を言う。<br>・司会<br>・みんなが意見を言えるようにする。<br>・意見を整理する。   | 4～5人のグループで | 話し合って決めよう<br>わたしたちの学校行事                    |
| 4年 | ・司会や提案者などの役割を理解し、目的に向かって話し合う力。<br>・人間関係を壊さない言葉や話し方で話し合う力。                                  | 互いの考えの共通点や相違点を考えながら聞く。   | ・はじめに賛成か反対か立場をはっきりさせて言う。<br>・前の人の意見と同じか違うかをはっきりさせて話す。<br>・司会<br>・予定通りに進める(進行メモ)<br>・意見が出るようにする。<br>・出た意見をまとめる。  | 6人程度のグループ  | よりよい学級会をしよう                                |
| 5年 | ・話題を決めて、収集した知識や情報を関連づけ、互いの意図や立場をはっきりさせながら、計画的に話し合いをする力                                     | ・自分の考えと関連させながら話を聞き、考えを広げたり深めたりする。<br>・複数の考えの根拠をいえるところや異なるところを明確にしながら聞く。                    | 目的を意識しながら、話題に沿って、自分の考えたことを、正確に効果的に伝える。<br>○意見を先に、理由を後に話す。<br>○自分の考えの理由として、調べたことを伝える。<br>○自分の立場を明確にして話す。<br>○自分の調べたこととつなげて話す。<br>○疑問や反論を分かりやすく伝える。<br>○具体的な事例を挙げて尋ねる。<br>○「たずねる言葉」「理解したということ」を伝える言葉「語に区切りをつけ、次へすすめる言葉」を活用する。 | グループ討論     | ◎豊かな言葉の使い手になるためには                          |
| 6年 | ・自分の意見を確かな根拠を示しながら説得力のある主張をする力。<br>・話し手の主張と根拠を正確に聞き取り、その主張と根拠は筋が通っているのか、説得力をもつものなのかを判断する力。 | ・話し手の意図をとらえ、自分の意見と比べながら聞く。<br>・相手の立場や意見を考えながら聞く。<br>○相手の主張や根拠を予想する。<br>○それに対する意見や答えを考えておく。 | ・議論の筋道に沿って、自分の立場を明確にし、説得力のある発言をする。<br>○意見を先に、理由を後に話す。<br>○体験や具体例を入れたり、資料などを提示したりして話す。<br>○相手の主張や、質問に対する答えをふまえて発言する。   | 学級討論会      | ◎学級討論会をしよう                                 |





# 生活科の授業実践





## 本単元について

### <生活科の目標>

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。

自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもつ。

自分自身や自分の生活について考えさせる。

### いのちの学習

- すべてのことは今の自分の生活とつながっていることに気づく。
- 様々なつながりの中から、自分を見つめ直し、自分の生き方を考えていく。

### ESDの視点から

身近な人々に支えられていることに気づく。

自分を振り返り、成長に気づく。

### 本単元では

- ・地域のお年寄りに昔遊びを教わることで、昔遊びに興味をもったり、お年寄りのすばらしさに気づいたりすることができる。
- ・地域のお年寄りと主体的にかかわることを通して、自分の住む地域のよさに気づき、愛着をもつことができる。

- ・地域のお年寄りや友だちと繰り返しかかわり合うことで、自分や友だちのよさや成長に気づくことができる。
- ・昔遊びを楽しんだり、熱中したりする中で味わった喜びや、得た技能を、次の活動や生活に活かすことができる。

### 育みたい力は

#### 他者とのかかわり

- 自分のまわりの人に進んでかかわることができる。
- 自分の言葉で表現し、伝えることができる。

#### 自分とのかかわり

- 自分の思いや願いを実現するために工夫して活動することができる。
- 気づいたことを生活に活かしていこうとすることができる。

平成26年11月27日(木) 5校時 指導者 1年担任 小野 道子

1 単元名 いっしょに あそぼう

2 単元目標

- 家の人や地域の人に、昔遊びを教えてもらったり、友だちと昔遊びの練習に取り組んだりしながら、一緒に活動することの楽しさを味わうことができる。  
(生活への関心・意欲・態度)
- 友達や家の人、また地域の人と一緒に昔遊びをする中で味わった楽しさや、気がついたことを、言葉や動作や絵で表現することができる。
- 昔遊びの技が上達することを目指して試行錯誤しながら練習するだけでなく、友達同士で遊びの場を工夫したり声を掛け合ったりして練習することができる。  
(活動や体験についての思考・表現)
- 昔遊びの楽しさや、地域の人のおもしろさ、友だちや違う年齢の人と一緒に遊ぶことの楽しさに気づくことができるとともに、友だちのがんばりや自分の成長に気づくことができる。  
(身近な環境や自分についての気づき)

3 単元構想 (別紙)

4 単元の評価規準

|             | 関心・意欲・態度   | 思考・表現   | 気付き                                 |
|-------------|--|---|-------------------------------------|
| ふれる<br>(2)  | 昔遊びに関心を持ち、進んでやってみようとしている。                        | 昔遊びの経験を話したり、聞いたりしている。                           | 昔遊びの楽しさに気が付いている。                    |
| つかむ<br>(2)  | 自分がやってみたい遊びを選び、進んでやってみようとしている。                   | 地域の人に自分から遊び方をたずねたり、教えてもらったことを何度も練習したりしている。      | 地域の人に遊び方を教えてもらう楽しさや、上達する喜びに気が付いている。 |
| 追求する<br>(3) | 友だちと関わりながら進んで練習に取り組んでいる。                         | 友だちと一緒に遊べる場や方法を工夫したり、友だちに声をかけたりしている。            | 友だちと一緒に遊ぶ楽しさや、一緒に上達する喜びに気が付いている。    |
| 活かす<br>(2)  | できるようになった技を周りの人に進んで見てもらおうとしている。友だちの上達にも関心を持っている。 | 友だちや地域の人と一緒に遊んだ楽しさや、活動して気が付いたことを言葉や動作や絵で表現している。 | 自分の成長や友だちのがんばり、地域の人のおもしろさに気が付いている。  |

## 5 指導上の立場

### ○単元について

本単元は、指導要領生活科の内容（5）及び（8）を受けた単元である。第三藤田小学校では、登下校の見回りや様々な行事への参加など、地域の方が大変協力的である。1学期に実施した通学路探検でも、地域の人との関わりをクラスのみならず確認することができたが、昔遊びを通して地域の人との交流を図り、さらにつながりが深まるよう、本単元を設定した。

### ○児童の実態

本学級は、男子7人、女子11人で、男子の方が人数が少ないが、全体的に元気のよい児童が多い。また、生活科の時間には、交流学級の児童2人（ともに男子）も一緒に活動しており、20人という人数の割には活発に学習に取り組んでいる。そのうち16人が同じ保育園から入学してきており、クラスの中で、伸び伸びと自分を出せる児童が多い。

昔遊びについては、ほとんどの児童が保育園や幼稚園等で、お手玉やこま、あやとりなどの遊びを経験してきており、地域の人に教えてもらったことがある児童もいる。そこで、昔遊びを楽しむだけでなく、昔遊びを通じて、地域の人と一緒に遊ぶ楽しさや地域の人への優しさや思い等にも気づけるようにしていきたい。また、友だち同士の学び合いも意識できるようにし、よりよい人間関係づくりにもつながるようにしたい。

## 6 研究テーマとの関連

本校の研究テーマ「人・社会・自然などと自分とのつながりに関心を持ち、主体的にかかわろうとする子どもの育成」に迫るために、次のようなことを工夫していく。

### （1）自分とのかかわり

「自分の思いや願いを実現するために工夫して活動することができる」ための工夫

- ・「ふれる」段階では、地域の人々が作ってくれたお手玉で遊びを体験することで、昔遊びに興味をもち、「もっと上手になりたい。」「他の昔遊びもやってみよう。」という意欲をもったり、地域の人への優しさに触れたりできるようにする。
- ・児童が希望する昔遊びを体験する時間を十分とった上で、どの遊びが上手になりたいかを決めさせるようにすることで、意欲をもち継続的に同じ遊びの練習に取り組めるようにする。
- ・「がんばりカード」を用意し、技を増やしたり確実性をあげたりすることを目指して、意欲的に練習に取り組めるようにする。
- ・「活かす」段階では、練習の成果を、地域の人や家の人に見てもらえる場を設定し、自分のがんばりや成長が実感できるようにする。

### （2）他者とのかかわり

「自分のまわりの人に進んでかかわることができる」ための工夫

- ・まず、「ふれる」段階で、自分たちでいろいろな昔遊びを体験させておくことで、次の「つかむ」段階で、地域の人と楽しく活動するだけでなく、課題意識をもって地域の人に昔遊びを教えてもらうことができるようにする。
- ・「追求する」段階では、自分で試行錯誤するだけでなく、友だちに教えてもらったり、反対にアドバイスしてあげたりして、教え合ったり、励まし合ったりしながら上手になる喜びを体験させ、共に学ぶ良さを味わうことができるようにする。そのために、友だちへの言葉かけについて、具体的におさえて意識づけすることで、励まし合うなどして仲良く遊んだり、遊び場として使いそうなバケツや台・遊び方の本・音楽CDなどを用意しておくことで、自発的に子どもたちが交流したりできるようにする。
- ・「活かす」段階で、「むかしあそびのかい」を開き、地域の人や家の人に練習した成果を見てもらい、自分の成長を見守ってくれることを実感できるようにする。また、その気づきをもとに、地域の人にお礼の手紙を書き、自分の気持ちを伝えられるようにする。

7 本時案（追求する段階 第2時）

| 目標                         | もっと楽しく遊べる場や方法を工夫しながら、友だちと一緒に昔遊びを練習することができる。  |   |
|----------------------------|--|---|
| 学習活動                       | 教師の支援  | 評価  |
| 1 前時の活動を振り返り、本時のめあてをつかむ。   | <p>○前時に引き続き、遊びのコーナーに分かれて練習することを確認する。</p> <p>○前時の活動を振り返り、練習するときどんな言葉かけをしてあげるとよかったかを思い出させた後、本時のめあてを知らせる。</p>   |   |
| ともだちといっしょにもっとたのしくあそぼう。     |  |   |
| 2 いっしょに楽しく遊べる場や方法について話し合う。 | <p>○遊びのグループごとに、一緒に楽しく遊べる方法はないか話し合わせ、考えたことを発表させる。</p> <p>○地域の人と遊んだときのことを思い出させ、何人かで競争しながら遊べる場や、一緒に遊べる方法を考えさせる。</p>   |   |
| 3 コーナーごとに、練習する。            | <p>○練習の前に、グループごとに、できるようになりたい技を話し合わせ、友だちの願いを共有するようにさせる。</p> <p>○遊び場として使いそうなバケツや台、遊び方の本、音楽CDなどを用意しておく。</p> <p>こま・・・バケツや台などを利用して競い合う。</p> <p>お手玉・・・回数を競い合う。</p> <p style="padding-left: 2em;">一緒に音楽に合わせる。</p> <p>あやとり・・・二人技をする。</p> <p style="padding-left: 2em;">二人でとりあう。</p> <p>けん玉・・・回数を競い合う。</p> <p style="padding-left: 2em;">一緒に音楽に合わせる。</p> <p>○練習の中程にハーフタイムとして一度声かけ前半の振り返りをさせ、後半の意欲につなげる。</p> | <p>○友だちと一緒に遊べる場や方法を工夫したり、友だちに声かけをしたりしながら自分の遊びに取り組んでいる。</p> <p style="text-align: right;">（観察）</p> |
| 4 本時のまとめをする。               | <p>○今日初めて技ができるようになった児童や、アドバイスしてあげた児童を紹介する。</p> <p>○本時の活動を振り返ってうれしかったことなどをがんばりカードのふりかえり欄に書かせ、友だちと一緒に練習して技が向上したことを称賛する。</p>  | <p>○本時の活動を振り返り、友だちと一緒に遊ぶ楽しさや、自分や友だちのがんばりに気づいている。（観察・カード）</p>                                      |

単元構想

|      | 学習過程                        | 学習活動と児童の意識の流れ  | 全体への支援  |
|------|-----------------------------|--|---|
| ふれる  | むかしあそびをやってみよう。(1)           | <p>地域の人や家族にむかしあそびを教えてもらったことを思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・むかしあそびっておもしろいね。</li> <li>・おじいちゃんやおばあちゃんが教えてくれて楽しかった。</li> <li>・小学校でもやってみたいな。</li> <li>・お手玉が上手にできてうれしいな。</li> <li>・ほかの技も知りたいな。</li> <li>・ほかの遊びもやってみたいな。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園や家で、おじいちゃんやおばあちゃんに、昔遊びを教えてもらったことを思い出させ、楽しかった経験を話し合わせる。</li> <li>・地域の人が作ってくれたお手玉を紹介し、地域の人の優しさに触れ、昔遊びに興味をもたせる。</li> <li>・お手玉遊びの簡単な技をみんなでやって成功体験を持たせ、多くの児童が昔遊びに意欲がもてるようにする。</li> <li>・ほかにもしてみたい昔遊びを発表させ、興味を広げながら学習を進めるようにする。</li> </ul>   |
|      | いろいろなむかしあそびをしよう。(1)         | <p>やってみみたいむかしあそびをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろあって楽しいな。</li> <li>・むずかしいけど楽しいな。</li> <li>・もっとじょうずになりたいな。</li> <li>・だれかに教えてもらいたいな。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童がやってみみたい昔遊びの道具をなるべく用意し、体験できるようにする。</li> <li>・昔遊びには技があることを意識するようにし、技が上達する喜びに気づくようにする。</li> <li>・もっと上手な人に教えてもらおうとよいことに気づき、できる遊びや技を増やしたいという意欲をもたせるようにする。</li> </ul>  |
| つかむ  | むかしあそびのあそびかたやわざを教えてもらおう。(2) | <p>むかしあそびについて技を教わったり一緒に遊んだりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろんなわざがあるんだね。</li> <li>・できるようになりたいな。</li> <li>・こまをまわすコツがわかったよ。</li> <li>・おてだまのわざがふえたよ。</li> <li>・むかしあそびっておもしろいね。</li> <li>・もっと上手になりたいな。</li> <li>・地域の人はずいいな。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人に学校に来てもらい、一緒に楽しく遊ぶ中で、遊び方を教えてもらったり、技を教えてもらったりして意欲を深める。</li> <li>・地域の人と触れ合う中で、地域の人の応援の気持ちや、地域の人も子どものときに練習して上手になったことなどに気づき、自分も上達したいという思いをもてるようにする。</li> <li>・地域の人から、上手になるためには、互いに教え合ったり、励まし合ったり、競い合ったりして、たくさん練習することが大切であることを助言してもらい、みんなががんばって練習に取り組もうとする意欲をもたせる。</li> </ul>  |
| 追求する | むかしあそびの練習をしよう。(3)           | <p>むかしあそびを練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやったら上手になるだろう。</li> <li>・同じ遊びの人同士一緒に練習したいな。</li> <li>・教え合えるね。</li> <li>・声を掛け合って仲良くあそぼう。</li> <li>・コツを教えてもらったよ。</li> <li>・アドバイスしたら、できるようになったよ。</li> <li>・友だちにおうえんしてもらって、うれしかったよ。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みたい遊びを1つに絞り、技を磨いたり増やしたりする。</li> <li>・遊びごとにコーナーを作り、同じ遊びの友だちと一緒に競い合ったり教え合ったりして楽しく練習できるようにする。</li> <li>・練習するときに、どんな声かけをしてあげるとよいか話し合わせ、進んで教え合ったり、励まし合ったりすることができるようにする。</li> <li>・「がんばりカード」を励みに、技を増やしたり確実性をあげたりしながら練習する意欲をもたせるようにする。</li> <li>・教えてもらってできるようになったことや、応援してもらってうれしかったことなどを振り返りカードに書いて発表させ、友だちと一緒に練習するよさや楽しさに気づけるようにする。</li> </ul>                       |
|      | <b>本時</b>                   | <p>友だち同士でもっと楽しく遊べる方法を考えながら練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に遊べる場所を作ろう。</li> <li>・競争したら楽しそう。</li> <li>・友だちにおうえんしてもらって、うれしかったよ。</li> <li>・できる技がふえたよ。</li> <li>・みんなの前で発表したいな。</li> <li>・もっと他の人にも教えたいな。</li> </ul> <p>クラスではっぴょうしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちが上手になってうれしいな。</li> <li>・家の人に見せたいな。</li> <li>・教えてくれた地域の人に見てほしいな。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だち同士でもっと楽しく遊べる方法はないか考えさせ、一緒に遊べる場所を作ったり、声を掛け合ったりするとよいことに気づかせる。</li> <li>・バケツや台・遊び方の本・音楽CDなどを用意し、何人かで遊んだり競い合ったりできる場や方法を工夫させ、一緒に活動しやすくするようにする。</li> <li>・自分たちで遊び場や遊び方を工夫したことや、自分達で考えたやりかたで一緒に遊んだり競い合ったりして楽しかったことなどを、振り返りカードに書いて発表させ、友だちと一緒に練習するよさや楽しさに気づけるようにする。</li> </ul> <p>・ミニ発表会をして、できるようになった技をクラスみんなに披露し、お互いのがんばりや成長を認める場とし、家の人や地域の人にも見てもらいたいという気持ちをもたせる。</p> |

|            |                                      |  |   |
|------------|--------------------------------------|--|---|
| <p>活かす</p> | <p>地域の人やお家の人にむかしあそびの技を見てもらおう。(1)</p> | <p>地域の人や家の人を招待して、むかしあそびの技を見せたり、一緒にあそんだりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家の人がびっくりしたよ。</li> <li>・地域の人にほめられたよ。</li> <li>・じょうずになったよ。</li> <li>・がんばって練習してよかったな。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・参観日に「むかしあそびのかい」を開き、地域の方や家の人に、練習の成果を見てもらったり、一緒に楽しく遊んだりする。</li> <li>・グループごとに発表して、練習の成果をみんなにみてもらった後、地域の人や家の人と一緒に遊ぶ時間を設け、スムーズに交流できるようにする。</li> <li>・「みてみてカード」を各自に持たせ、技を見てもらったサインをもらうなどして、いろんな人と進んで関わられるようにする。</li> <li>・生活科カードに、楽しかったことやよかったことを絵や文でかき、単元の振り返りをさせる。</li> </ul> |
|            | <p>地域の人にお礼の手紙を書こう。(1)</p>            | <p>活動を振り返り、昔遊びを通して一緒に遊ぶことの楽しさや自分のがんばり・成長を絵や文で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔遊びを一緒にして楽しかった。</li> <li>・昔遊びが上手になった。</li> <li>・大変だったけど、自分や友達が上手になってうれしかった。</li> <li>・友だちに喜んでもらえてよかったよ。</li> <li>・教えてくれた地域の人にお礼を言いたいな。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスで発表し合い、昔遊びの楽しさやお互いの成長をみんなで共有できるようにする。</li> <li>・地域の人にお礼の手紙を書き、教えてもらって上手になったことや、地域の人と一緒に遊べてうれしかったことなどを再確認して、学習のまとめとする。</li> </ul>   |



# 岡山市立第三藤田小学校 ESDカレンダー 1年生

| 第1学期 | 4月       | 5月                | 6月      | 7月         | 8月             | 9月            | 10月           | 11月        | 12月       | 1月       | 2月          | 3月    |
|------|----------|-------------------|---------|------------|----------------|---------------|---------------|------------|-----------|----------|-------------|-------|
| 国語   | 本町のていねい  | わげをばなす            | はなのみち   | こんないをみつけたよ | おはな            | みいつけた         | しらべたいな、風をたいな  | あつまれふゆのことば | おみせやさんこつし | とらぶつおちやん | いいこいっばい！1年生 |       |
| 算数   | ①        | ②                 | ③       | ④          | ⑤              | ⑥             | ⑦             | ⑧          | ⑨         | ⑩        | ⑪           | ⑫     |
| 生活科  | かつこうだいすき | たくさんさいてね きれいにさいてね | いぎのどかよし | あさとともだち    | あさのほほや だんごめいごう | いっしょにめそぼう(本朝) | いっしょにめそぼう(本朝) | かんぱいっしょに   | もくすく2年生   |          |             |       |
| 関係図  | A        | B                 | C       | D          | E              | F             | G             | H          | I         | J        | K           | L     |
| 道徳   | たのしいがっこう | ①                 | ②       | ③          | ④              | ⑤             | ⑥             | ⑦          | ⑧         | ⑨        | ⑩           | ⑪     |
| 図工   | しぜんとながよし |                   |         |            |                |               |               |            |           |          |             |       |
| 音楽   |          |                   |         |            |                |               |               |            |           |          |             |       |
| 学習指導 | 授業の活動    | 授業の活動             | 授業の活動   | 授業の活動      | 授業の活動          | 授業の活動         | 授業の活動         | 授業の活動      | 授業の活動     | 授業の活動    | 授業の活動       | 授業の活動 |

| 技能面 | 関連内容                        |
|-----|-----------------------------|
| ①   | 2人で話す、聞く。                   |
| ②   | 自然にかかわり、気づいたことを書き、発表する。     |
| ③   | グループで話す、聞く。                 |
| ④   | 発表のし方、聞き方。                  |
| ⑤   | たずねたり、必要たりする。               |
| ⑥   | 理由を付けて自分の考えを言う。             |
| ⑦   | ゲームに必要な手順を規則の理解したことを書き、伝える。 |
| ⑧   | 人や自然にかかわる。                  |
| ⑨   | 相手の気持ちを考え、自分の思いを伝える。        |

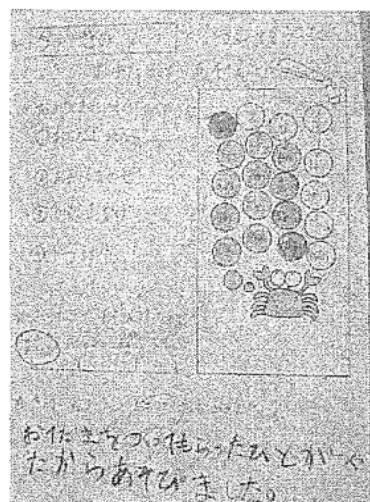
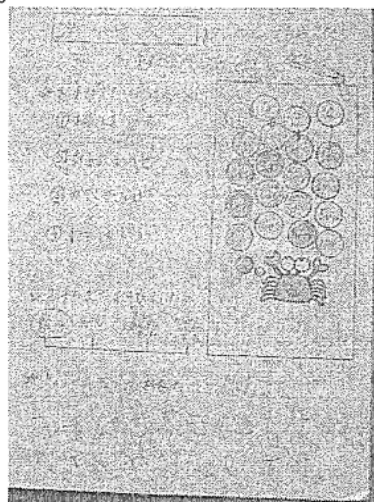
| 内容・心筋 | 関連内容                              |
|-------|-----------------------------------|
| A     | 愛敬心                               |
| B     | 動物物を大切にすることをお知らせする。               |
| C     | 自分のできることをお知らせする。                  |
| D     | 礼儀正しく、きちんにおいさつをしてお知らせする。          |
| E     | 友だちや自然にかかわり、自分の思いを表現する。           |
| F     | 自分の思いや願いを工夫して活動する。                |
| G     | 今までの経験を活かして工夫して活動するともに生活にも活かしていく。 |
| H     | 成長に気づく。                           |
| I     | 冬のめざす                             |

- 生活科 夏季
- 音楽発表会
- 関係図
- 新1年生導入
- 8年生を送る会

## 〈 授業の実際 〉

### (1) 「ふれる」段階

単元の導入では、地域の方（JA藤田女性部）の手作りのお手玉で遊ぶことによって、昔遊びにより興味をもったり、地域の方とのつながりを意識させたりするようにした。また、最初にどの児童も少し練習すればできそうな簡単な技をがんばりカードの形式で提示することで、自分にもできるという自信をもち、「もっと難しい技をやってみたい。」「他の昔遊びもやってみたい。」という意欲につながった。



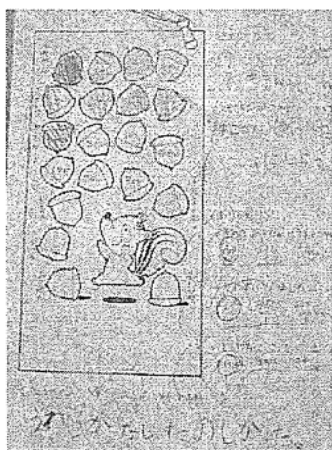
### (2) 「つかむ」段階

自分たちで興味のある昔遊びをやっていくうちに、「もっと上手になりたい。」「いろんな技を教えてもらいたい。」という思いが出てきたので、地域の方をお願いして、学校に来て教えてもらうことにした。当日は、JA藤田女性部の方と藤田地区安全パトロールの方が15名来校し、「昔遊びの先生」として、お手玉、こま、けん玉、あやとり、紙風船などを熱心に教えてくださった。児童も興味のある遊びを熱心に教わったり、難しい技を見せてもらったりして、昔遊びを楽しんだ。地域の方から大いに刺激を受け、どの児童も「〇〇先生のように上手になりたい。」「たのしかったから、もっとやりたい。」という思いを強くもつことができた。

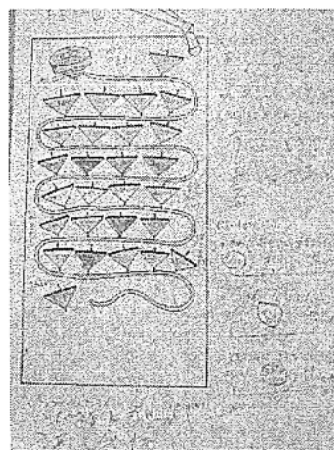


### (3) 「追求する」段階

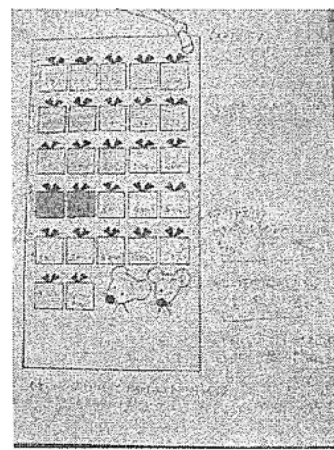
「つかむ」段階で経験した昔遊びの中から、続けて練習したい遊びを1つ決め、がんばりカードを励みに練習に取り組んだ。始めは、各自で思い思いに練習したが、次第に友だちと一緒にしたいという児童が増えてきたので、一緒に楽しく遊ぶにはどうしたらいいか考えさせ、「やさしいことばをつかってあそぼう。」「いっしょにあそべる方法を考えよう。」と、少しずつレベルアップしながら、練習に取り組ませた。児童は、言葉に気をつけながら、教え合ったり励まし合ったりして、仲良く練習できていた。



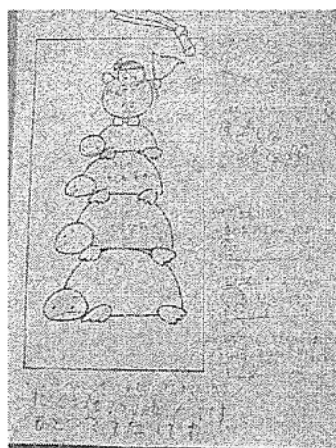
〈けん玉〉



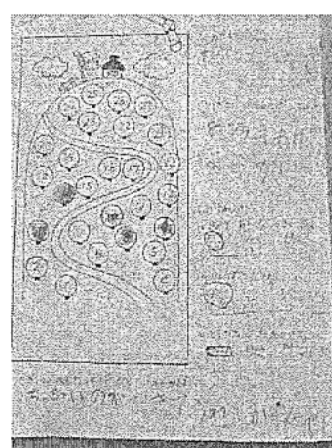
〈こま〉



〈お手玉〉



〈あやとり〉

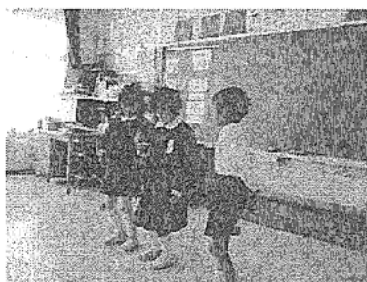


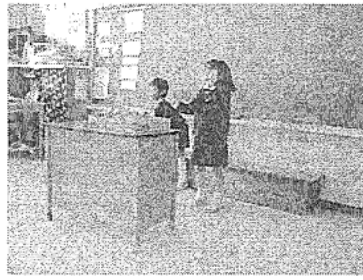
〈紙ふうせん〉

### (4) 「活かす」段階

参観日に、地域の方にも来ていただいて「昔遊びの会」を開き、練習の成果を発表したり、地域の方、保護者、児童が入り交じって、一緒に昔遊びを楽しんだりした。地域の方に上手になったことを褒めていただき、達成感を味わうことができた。

また、学習の最後に、教えてくださった地域の方にお礼の手紙を書いたが、一緒に楽しく遊べた喜びとともに、地域の方のおかげで昔遊びが上達したこと、これからも見守ってほしいことなどに言及した内容の手紙が書けていた。



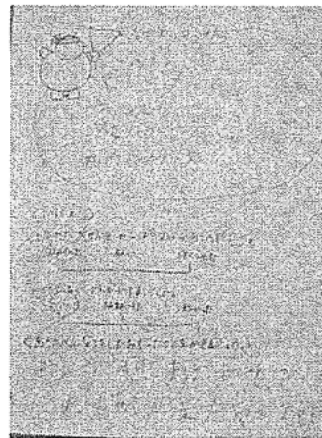
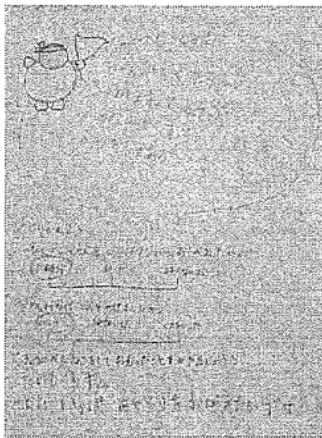


## 〈 成果と課題 〉

### (公開授業)

本時では、友だち同士でもっと楽しく遊ぶために、一緒に遊べる遊び方を工夫させたかったが、前時の「やさしいことばをかけ合う。」「教え合ったりほめたりする。」などの態度面からステップアップすることが難しかった。そこで、グループを回りながら、道具を紹介するなどしてアドバイスをしていた。グループごとに話し合いをする際に、地域の人と遊んだときのことを写真を見せて思い出させたり、道具の実物を見せて紹介したりするなどして手がかりを掴ませてから、話し合いをさせるとよかったと反省している。地域の方に教えてもらうときに、競い合う遊び方を意識的に教えてもらうようにすれば、手がかりがもっと増えると思う。今回は、お手玉の演舞を見せてもらっていたので、お手玉グループの児童が、音楽に合わせてみんなでお手玉をすることを思いつくことができ、よかった。

また、話し合ったことをワークシートに書かせるようにしたが、時間がかかり練習の時間が少なくなってしまったので、話し合っただけで練習に取り組ませたほうがよかったと思う。



### (単元全体を通して)

本単元は、昔遊びを題材にしているが、本来は家族と一緒に遊んだ経験から学習に入っていくのが自然だと思う。しかし、今回は、地域の方の作ってくださったお手玉があったおかげで、児童に昔遊びをスムーズに体験させることができた。また、地域の方との交流にもつなげることができたと思う。時期的には、本来は1月に行うことが多いが、寒くなる前なので、地域の方に来ていただきやすく、2回来校してもらうことができ、交流がしっかりと図れたと考えている。そのため、その後の学校行事などでも親しみをもって接することができていた。地域の方への親しみや尊敬の気持ちは、2年生での生活科の学習や3年生以上での総合的な学習でも活かされると考える。

自分で選んで決めた遊びを継続的に練習することを通して、続けてがんばる力や上達する喜びが味わえたと思う。難しい技にあきらめずに挑戦する児童が増えたり、やさしい言葉を意識させたことで、乱暴な言葉遣いがなかなか直らなかった児童が穏やかに友だちに接していたり、地域の人に上達したところを見てもらうことに喜びを感じたりしながら、「人(友だち、地域の人)や社会(昔遊び)と自分とのつながりを意識し、主体的にかかわる子ども」に迫ることができたと考えている。

平成26年10月22日(水) 5校時

指導者 2年担任 山本龍太郎

1 単元名 うごくうごくわたしのおもちゃ

2 単元目標

○ 動くおもちゃを作ったり遊んだりすることを通してそのおもしろさや不思議さに関心をもつことができる。

○ 自分で作った動くおもちゃを使って、みんなで遊びを楽しむことができる。

(生活への関心・意欲・態度)

○ 動くおもちゃを使って遊びながら、おもちゃの仕組みに興味をもち、工夫しながら作ることができる。

○ みんなに楽しんでもらうために遊びのルールを工夫することができる。

(活動や体験についての思考・表現)

○ 身近な材料を使い、工夫しながら、遊ぶものを作ることができることに気づく。

○ 動くおもちゃを作ったり、使って遊んだりするなかで、みんなといっしょに遊んだり、作ったりする楽しさやよさに気づくことができる。

(身近な環境や自分についての気づき)

3 単元構想図(別紙)

4 単元について

本単元は、9つの指導内容のうち、主に(6)身近にある物を使った遊び(8)身近な人との交流に関わって構成した単元である。

身近にある物を使って動くおもちゃを作って遊ぶ活動を通して、遊び自体を工夫したり、遊びに使う物を工夫して作ったりすることが主な活動で、その活動をさらに他の人(1年生、保育園児や地域の方々)に広げて、みんなで活動を楽しみつながりをもつ機会とするのが、本単元である。

「ふれる段階」では、まず、動くおもちゃの見本を用意して触って遊ばせることで、子どもたちの興味を引き、「作って、遊びたい」という思いをもてるようにする。そして、自分自身で作って遊ぶ場を設定し、しっかり遊んで楽しませる。その際、おもちゃ作りの先生役として地域の方々に協力していただき、児童一人ひとりが確実におもちゃを作って楽しむことができるようにするとともに、いっしょにおもちゃ作りをすることで交流を図る機会としたい。

「つかむ段階」では、自分たちが作ったおもちゃで友だちと遊んだり競争したりする中で、おもちゃの仕組みに興味をもち、工夫をしたり、遊び方のルールを考えたりさせたい。

「追求する段階」では、動くおもちゃで遊ぶ楽しさを知った子どもたちに、自分たち以外の人といっしょに遊びたい人がいるかたずね、まず1年生といっしょに遊ぶ場を設定する。その活動のなかで、ルールや遊び方の説明をするなどして、いっしょに楽しく遊ぶ経験をさせる。そして、「もっとたくさんの人といっしょに遊びたい」という思いをもたせることで、保育園児や地域の方々へさらに目が向くようにしたい。1年生よりも小さい保育園児や大人

の地域の方という相手意識をしっかりとらせることで、遊びのルールや場の工夫、接し方など、どうすればいっしょに楽しめるかについて、話し合いながら準備を進めていきたい。

「活かす段階」では、保育園児や地域の方々を招待していっしょに動くおもちゃで遊ぶ活動を通して、相手が喜んでくれたり、なかよくなったりという経験を通して、交流することの楽しさを十分に味わわせたい。

## 5 児童の実態

本学級の児童は、明るく活動的で何事にも興味関心をもって取り組むことができる。特に図画工作や生活科での工作等の制作活動は大好きである。しかし、家では、既製品のおもちゃで遊ぶことが多く、自分たちで遊びを考え出したり、手作りのおもちゃで遊んだりすることは少ないようである。

1学期の図画工作で行った水に浮かべて遊ぶおもちゃづくりでは、夢中になっておもちゃを作り、友だちと楽しく水に浮かべて遊ぶ姿が見られた。しかし、友だち同士で教え合ったり、おもちゃを工夫したり、改造したりする児童は、ほとんどいなかった。

昨年度1年生では、「もうすぐ2年生」の単元で保育園児等と年下の子どもたちといっしょに遊んだり、2年生になって学校探検をしたりと、様々な場面で交流することができ、上級生としてどう接すればよいのかを考えて行動することができるようになってきている。しかし、地域の方々は、学校行事や生活科で農作物のことを教えていただく等の交流をしているが、地域の方々に対して児童から進んで働きかけるような交流はできていない。

そこで、本単元を通じて、うごくおもちゃを作ったり遊んだりするなかで、いっしょに楽しむための工夫や改造の教え合いを子どもたち同士で行うことができるようにしていきたい。さらに、地域の方々や保育園児と遊びの交流をすることで、主体的に活動できるような場を設定し、交流する楽しさを味わわせたい。

## 6 研究テーマとの関連

本校の研究テーマ「人・社会・自然などと自分とのつながりに関心をもち、主体的にかかわろうとする子どもの育成」にせまるために、次のようなことを工夫していく。

### (1) 自分とのかかわり

「自分の思いや願いを実現するために、工夫して活動することができる」ための工夫

- ・ 単元の導入で、動くおもちゃの見本を見せて遊ばせることで、動くおもちゃを作って遊びたいという意欲を喚起する。
- ・ 「つかむ」段階では、おもちゃの仕組みや遊び方の工夫をしたいという思いをもてるように、遊ぶ場をおもちゃごとに設定し、競い合ったり、教え合ったりすることができるようにする。
- ・ 「追求する」段階では、「楽しいお店とはどんなお店か」について考える場を設定し、みんなで話し合った楽しいお店の条件を掲示し振り返らせることで、いつでもそれを意識しながらお店の準備をすることができるようにする。

### (2) 他者とのかかわり

「自分のまわりの人にすすんでかかわることができる」ための工夫

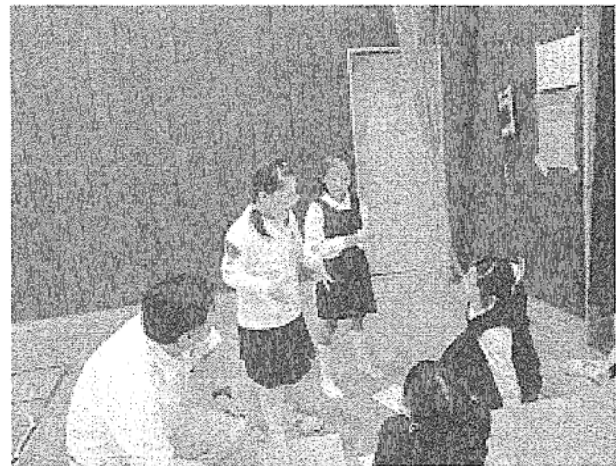
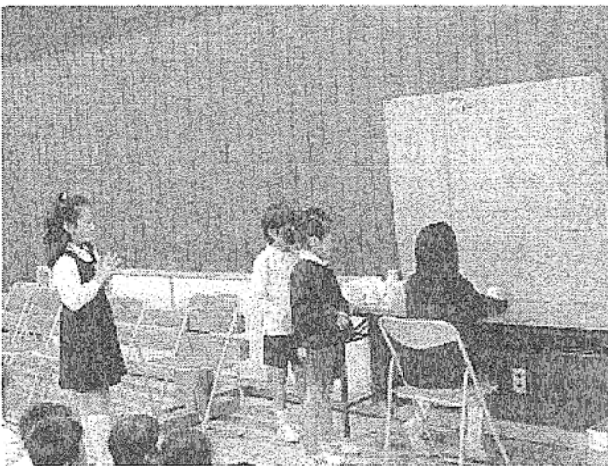
- ・ 遊びに誰を招待するかを話し合わせることで、自分のまわりの人々(1年生、保育園児や地域の方々)に対して、いっしょに楽しく遊びたいという思いをもてるようにする。
- ・ いっしょに遊ぶ相手として、まず身近な1年生を招待し、さらに保育園児や地域の方々へと段階を追って広げていくことで、より相手意識をもって活動できるようにする。
- ・ 「追求する」段階のお店の練習で、お店の人の役とお客さんの役を交代して行うことを通して、双方の立場から、楽しいお店にするための工夫について教え合うことができるようにする。

| 目標  | お店の人の役とお客さんの役になって、教え合うことで、楽しいお店になるように工夫することができる。   |  |
|---|--|--|
| 学習活動  | 教師の支援  | 評価                                     |
| 1 本時のめあてをつかむ。   | ○1年生とおもちゃで遊んだ時のことを振り返り、もっと楽しいお店にしようという思いをもつことができるようにする。  |  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     教え合って、もっとたのしいお店にしよう。                 </div> |  |  |
| 2 学習の見通しをもつ。  | ○活動の流れを掲示することで、活動の見通しをもたせる。  |  |
| 3 楽しいお店になるように、自分のお店の工夫を考える。   | ○教え合う視点を明確にするために、再度楽しいお店の条件を確認するとともに工夫カードを持たせ、確認できるようにする。  |  |
| ①さくせんタイム<br>(10分)   | ○ <u>さくせんタイムで、同じ店の人同士で工夫について確認する時間</u> をもち、 <u>練習タイムで活かせるようにする。</u><br>○2つのグループ(A・B)が組になり、互いにお店役とお客になることで教えやすくする。<br>○保育園児役は白帽子をかぶり、大人の役は赤帽子をかぶるようにして、相手を意識して接することができるようにする。<br>○1つのお店グループとお客グループを選び、お店役とお客役を演じさせ、演じた後にどのようなアドバイスをすれば良いか発表させることで、教え合いタイムのやり方がわかるようにする。 | ○楽しいお店になるために教え合うことができた。<br>(観察、ワークシート) |
| 前半(A店B客)<br>②教え合いタイム<br>(10分)   | ○話し合いがうまくいかないグループには、よかったことや困ったことを相手に伝えるように助言する。  |  |
| 後半(A客B店)<br>③教え合いタイム<br>(10分)   | ○教えてもらったことをすぐに取り入れることで教えた側にも教えられた側にも充実感が味わえるようにする。<br>○けがをしたり、おもちゃがこわれたり、物が散らかったりしないように約束を確認する。  |  |
| 4 本時の活動を振り返る。   | ○お店ごとに、どんな意見を取り入れ、どんな点がよくなったかを発表する場をもつことで、使える考えを共有したり、楽しい店になったことを実感したりできるようにする。  |  |

- 児童が教え合ったことを楽しいお店の条件に照らし合わせることで、自分たちの思いにそったお店になったことを確認し、次の活動への意欲につなげる。
- 本時をワークシートで振り返る。

## <成果と課題>

- ・前時に書いた作戦が「おもしろく、たのしく、やさしく」という視点に沿って書けていた。そのことにより、めあてが明確になっていた。
- ・店と客の役を代表が前でやった場面が良かった。よかった点や改善点を子どもたちの中から言わせるのが難しいと思ったが、たくさん出てきた。
- ・お年寄りや、園児役でモデルをしたときに「おばあちゃん」と言わずに名前を聞こうという意見はかかわりという意味でもとても良かった。
- ・見本で見せた店が壁向きになっていたため、他の子どもたちに見えにくかった。
- ・見本の店については、前時にやっておいても良かったのでは。
- ・工夫カードが活動になると活かせていなかったのも、それぞれのお店に掲示しておくとか、シールを貼るとかできたら立ち返るのに良かった。
- ・教え合いタイムの前半やったあとに集めてみんなの前で発表させると良かったのでは。
- ・お店役ではがんばっていたが、客役では教え合いという立場でなくクレームを付けるという立場の子どももいた。
- ・同じ店で何度も繰り返しお客役をすることがわかっていなかった子どもがいた。
- ・2時間一つながりで行えば、時間的にはもっとゆとりをもっていろんな店を周りながら楽しみながら意見交換ができるのではないだろうか。お店役の人が遊びを終えたあとに司会をするように最初の説明の時にやらせるようにしておけば、もっと子どもたち主体の教え合いタイムになったと思う。
- ・1週間後のおもちゃまつりでは、保育園児や地域の方々に対して「だい三ふじ田よろこび大きくせん」というテーマをもとに、「おもしろく」「たのしく」「やさしく」しようと子どもたちががんばることができたのは、本時の取組が生きていたと思う。







# 岡山市立第三藤田小学校 ESDカレンダー 2年生

| 学年    | 2年生  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
|-------|--|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 月     | 4月   | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 国語    | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>① かんまつきんに<br/>たろう</p> <p>② かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>あつたらいな</p> <p>③ 高たらのこと<br/>探りたいな</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>④ 高たらのこと<br/>2年生</p> </div> </div> |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 算数    | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>⑤ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>⑥ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>⑦ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> </div>  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 生活科   | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>⑧ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>⑨ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>⑩ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> </div>  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 図画・造形 | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>⑪ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>⑫ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>⑬ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> </div>  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 道徳    | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>⑭ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>⑮ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>⑯ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> </div>  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 図工    | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>⑰ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>⑱ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>⑲ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> </div>  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 音楽    | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>⑳ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>㉑ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>㉒ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> </div>  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 学校行事  | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>㉓ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>㉔ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>㉕ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> </div>  |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |

| 学年    | 2年生   |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
|-------|---|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 月     | 4月  | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 国語    | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>① かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>② かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>③ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> </div> |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 算数    | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>④ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>⑤ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>⑥ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> </div> |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 生活科   | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>⑦ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>⑧ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>⑨ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> </div> |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 図画・造形 | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>⑩ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>⑪ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>⑫ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> </div> |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 道徳    | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>⑬ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>⑭ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>⑮ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> </div> |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 図工    | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>⑯ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>⑰ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>⑱ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> </div> |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 音楽    | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>⑲ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>⑳ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>㉑ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> </div> |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |
| 学校行事  | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>㉒ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>㉓ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>㉔ かんまつきんに<br/>たろう</p> </div> </div> |    |    |    |    |    |     |     |     |    |    |    |

内容・心掛

① かんまつきんに たろう

② かんまつきんに たろう

③ かんまつきんに たろう

④ かんまつきんに たろう

⑤ かんまつきんに たろう

⑥ かんまつきんに たろう

⑦ かんまつきんに たろう

⑧ かんまつきんに たろう

⑨ かんまつきんに たろう

⑩ かんまつきんに たろう

⑪ かんまつきんに たろう

⑫ かんまつきんに たろう

⑬ かんまつきんに たろう

⑭ かんまつきんに たろう

⑮ かんまつきんに たろう

⑯ かんまつきんに たろう

⑰ かんまつきんに たろう

⑱ かんまつきんに たろう

⑲ かんまつきんに たろう

⑳ かんまつきんに たろう

㉑ かんまつきんに たろう

㉒ かんまつきんに たろう

㉓ かんまつきんに たろう

㉔ かんまつきんに たろう

内容・心掛

① かんまつきんに たろう

② かんまつきんに たろう

③ かんまつきんに たろう

④ かんまつきんに たろう

⑤ かんまつきんに たろう

⑥ かんまつきんに たろう

⑦ かんまつきんに たろう

⑧ かんまつきんに たろう

⑨ かんまつきんに たろう

⑩ かんまつきんに たろう

⑪ かんまつきんに たろう

⑫ かんまつきんに たろう

⑬ かんまつきんに たろう

⑭ かんまつきんに たろう

⑮ かんまつきんに たろう

⑯ かんまつきんに たろう

⑰ かんまつきんに たろう

⑱ かんまつきんに たろう

⑲ かんまつきんに たろう

⑳ かんまつきんに たろう

㉑ かんまつきんに たろう

㉒ かんまつきんに たろう

㉓ かんまつきんに たろう

㉔ かんまつきんに たろう

# クロスカリキュラム による授業実践





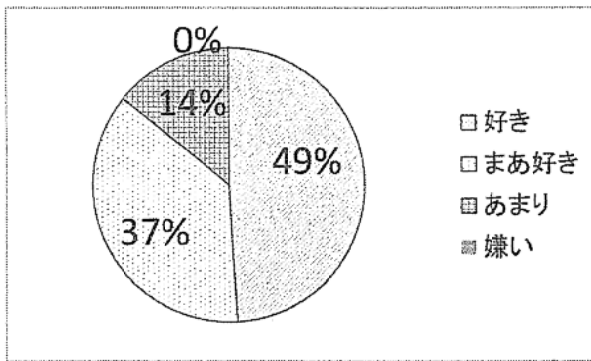
# 食育の取組について

## (1) 児童の実態

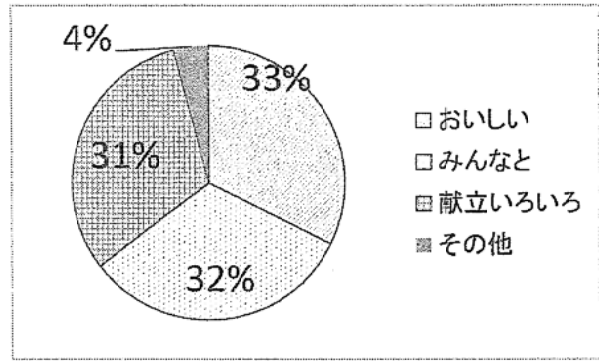
本校の学区は農業地域であり、専業農家は少ないものの、日頃から祖父母等の作ったお米や野菜を食べているという児童が多くを占めている。児童は登下校中の畑で、あたりまえのように様々なお米や野菜を目にしているが、「何という野菜か」「旬はいつか」「どうやって栽培しているのか」などについてはあまり知らなかったり、興味がなかったりする。

食生活についてアンケートを採ってみると、朝食は以前からほとんどの児童がきちんと食べてきており、家庭での意識も高い。また、給食は9割近い児童が好きと答え、その理由は「おいしいから」「みんなと食べるから」「いろいろな献立があるから」という意見が多く、残量も比較的少ない。しかし、残す児童の理由はやはり「嫌いなものがあるから」が多く、食べ慣れていないものを敬遠したり、その食材の良さを知らなかったりする傾向があった。

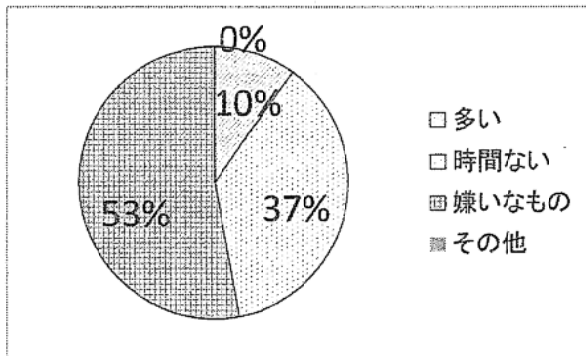
給食は好きですか？



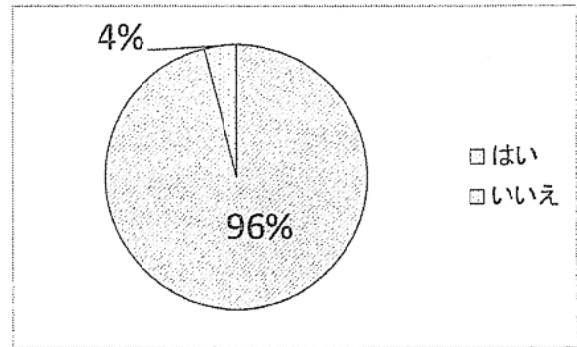
なぜ好きですか？



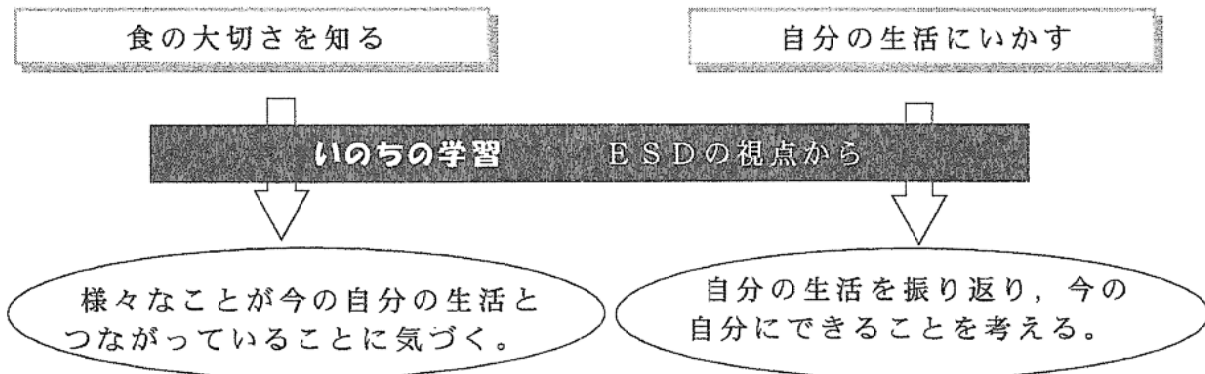
給食を残す理由は？



朝食を食べていますか？



そこで、「食の大切さを知り、自分の生活にいかそうとする子ども」を次のように捉え、研究に取り組んだ。



## (2) 研究の視点と主な内容

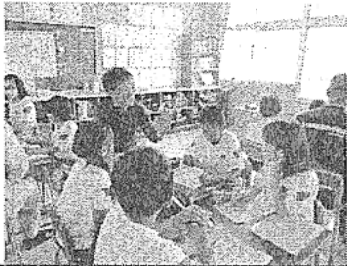
### ①各教科・領域とのクロスカリキュラムによる授業づくり

- 食に関する指導の全体計画及び年間計画に基づき、生活科，社会科，体育科（保健），家庭科，学級活動，総合的な学習の時間等に位置づけ，クロスカリキュラムによる授業を系統立てて行う。

<実践例1> 5年生 総合的な学習の時間「プロジェクト八十八」

「藤田に米づくり必要か？」について話し合う。

ふれる



農家の方のお話を聞く



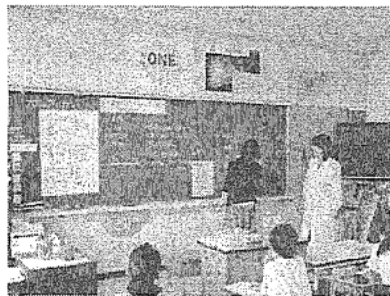
アヒル・アイガモ農法の見学



学校田での稲作体験

つかむ

課題をもつ(提案を考える)



家庭科と関連づけながらお米の良さについて学習



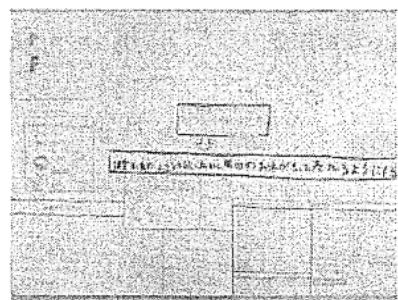
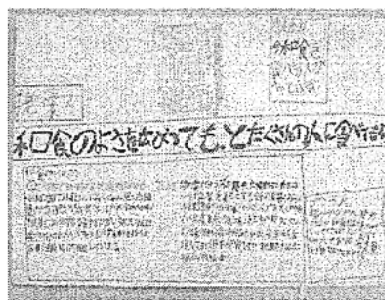
ご飯を炊いて，お米の食べ比べ



バケツ稲による品種別比較実験

追求する

提案書の作成



お米や和食の良さに目を向け，それをテーマに「20年後の藤田の米作りについての提案書」を作成した児童もいた。

活かす

自分の生活を振り返り，できることを実践する

<食に関する指導の視点>

- ・日常の食事に興味・関心をもつ。(食事の重要性)
- ・栄養のバランスのとれた食事の大切さがわかる。(心身の健康)
- ・食品の安全・衛生について考えることができる。(食品を選択する能力)
- ・生産者や自然の恵みに感謝して食べることができる。(感謝の心)
- ・協力して食事の準備・後片付けをすることができる。(社会性)
- ・特産物を理解し，日常の食事と関連づけて考えることができる。(食文化)

(3) 公開授業について 3年生 総合的な学習の時間「三藤のお宝をさがそう」

①単元の流れ

学区の農家を見学する

ふれる



玉ねぎ農家の見学



いちご農家の見学

レンコンのおいしさのひみつを調べる

つかむ



レンコンの試食

追求する



育て方、レンコン料理、農家の苦勞や工夫について調べる。

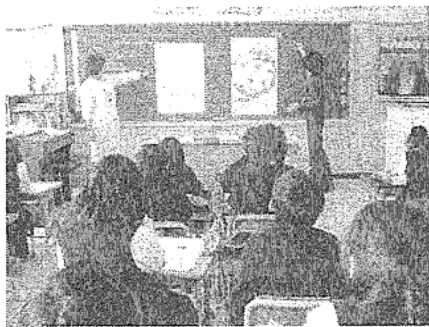
なぜJA女性部の方は、こんな活動をしているんだろう？

活かす



みそや豆腐の試食

課題をもつ



みそや豆腐のよさを知る授業（本時）

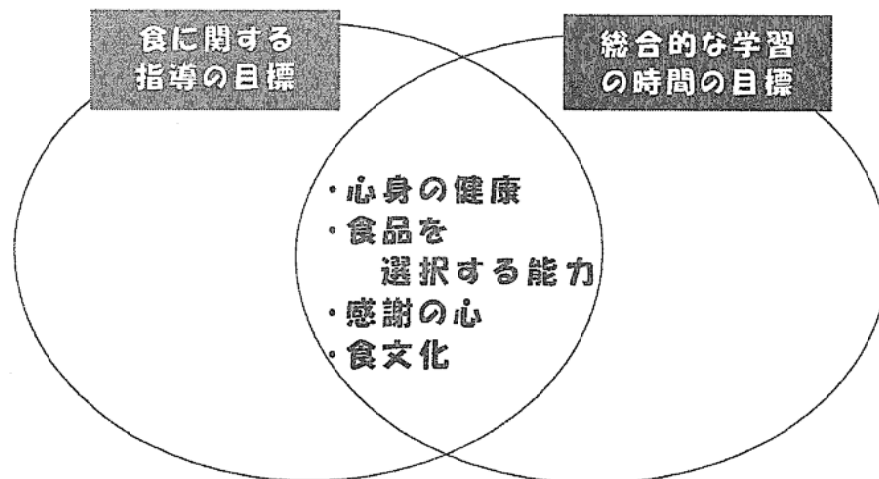


JA女性部の方にインタビュー

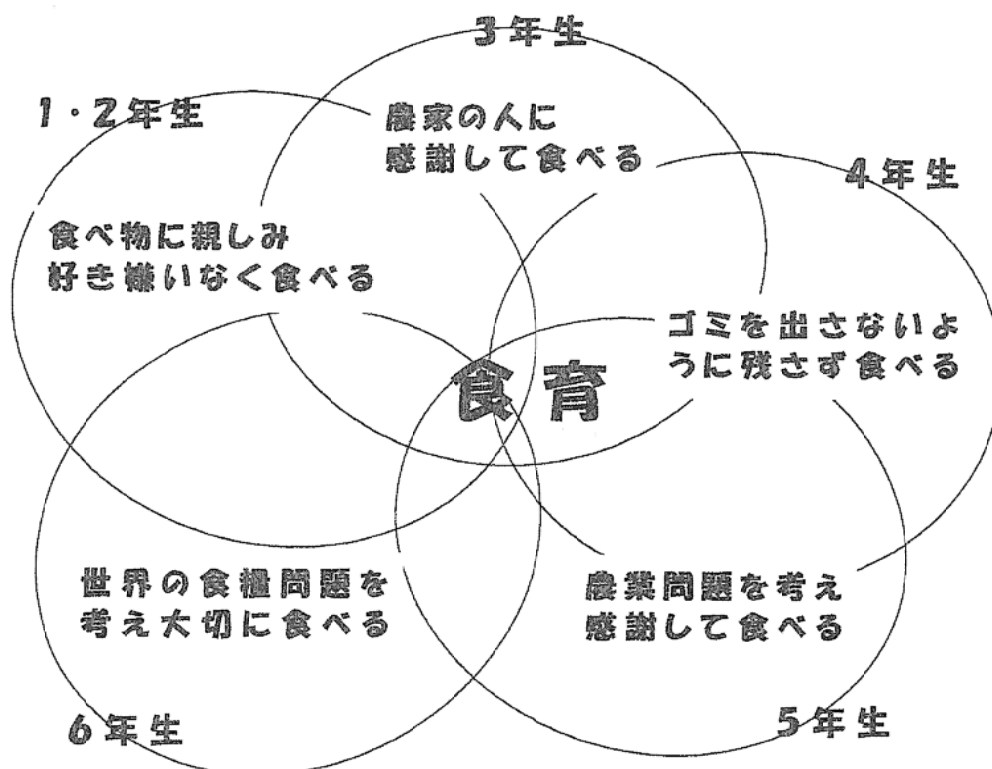


JA女性部の方に教わって豆腐作り体験

②ねらいについて



総合的な学習の時間としてのねらいは別にあるが、食育の視点を取り入れ、クロスカリキュラムで授業を行うことで、本時では「食事は多くの人々の努力があって作られることを知り、感謝の気持ちをもって食べることができたり、地域の産物に興味をもち、日常の食事と関連づけて考えることができたりする」ようにしている。



そして、1，2年生は生活科で野菜を育てる経験をし、「食べ物に親しみ、好き嫌いなく食べる」

3年生では、農家やJA女性部の方の苦労や工夫を知ることによって「感謝して食べる」

4年生は、環境面から、残食をゴミにしないために「食べ物を残さず食べる」

5年生では、生産者と消費者の両方が幸せになれるよう、自分たちにできることを考え、「地産地消を考え、感謝して食べる」

6年生では、世界の飢餓に苦しむ子どもたちのことを考え、「食べられることに感謝して食べる」というように、様々な視点から食について考え、食の大切さを知り、生活に活かすことができるようにしている。総合的な学習の時間だけでなく、3・4年生の国語、社会、保健体育や、5・6年の社会、家庭科など、他の教科でも積極的に食育を取り入れている。

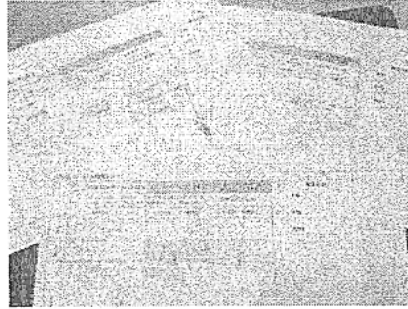


## ② 給食時間を活用しての取組

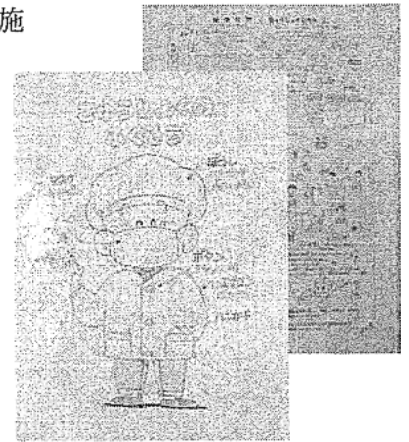
- 学級担任による指導
- 準備・返却時の指導
- 校内放送による献立，地元産の食材，行事食などの紹介
- 年3回のたてわり給食
- セレクト給食・バイキング給食・6年生の立てた献立の実施



たてわり給食



6年生が家庭科で考えた献立



教室の掲示物

## ③ 給食委員会の取組

### ○給食集会

1月の給食週間に合わせて、ショート集会を企画，開催。

劇を通して栄養バランスのとれた食事の啓発や，給食調理員さんへの感謝の手紙の贈呈を行っている。



給食委員会によるショート集会



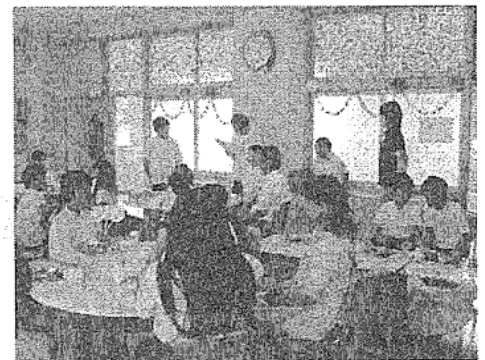
給食調理員さんへ感謝の手紙

### ○残食量調査

年に2回の残食量調査を給食委員会が担当。  
残食量の少なかったクラスを放送して呼びかけ。

### ○お誕生日給食の開催

3か月ごとに誕生日の児童を招待して，ランチルームで給食。給食委員会が旬や様々な食材，外国の食べ物などについてのクイズを出題し，グループで楽しく参加する。



お誕生日給食

#### ④家庭への啓発

○食育便りの発行

○生活チャレンジカードの実施

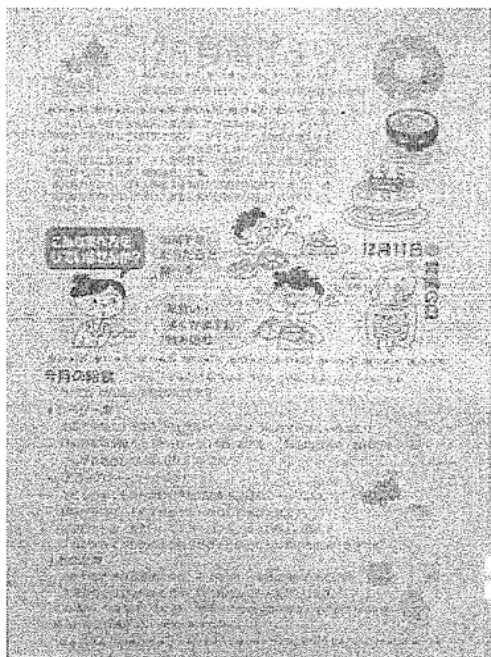
年に3回、生活チャレンジカードで、規則正しい生活習慣への取組を実施。  
その中に、朝食の項目を設けて啓発している。

○給食運営委員会の開催

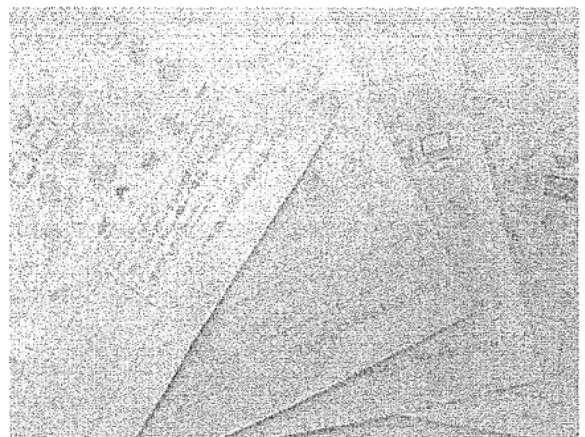
○給食試食会の実施

毎年参観日を利用して、1年生の保護者を対象に給食試食会を実施。子どもと一緒に給食を食べることで、我が子の様子を知ってもらったり、給食についての意見や感想をもらったりしている。

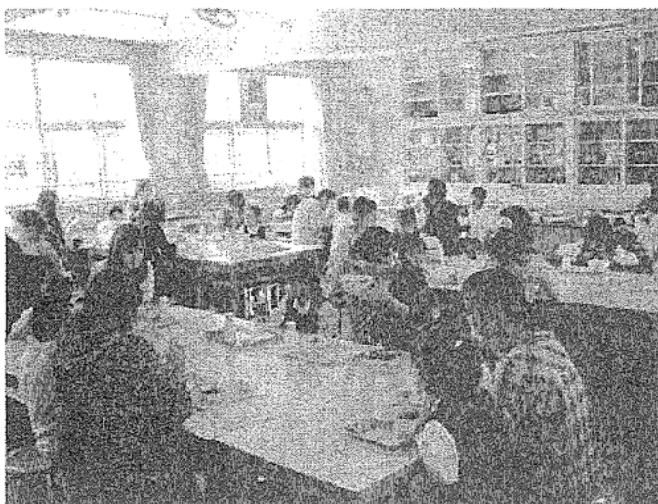
続けて給食運営委員会にも参加していただき、衛生面についてや献立の工夫などについて栄養士から説明を行っている。



食育だより



生活チャレンジカード



親子給食  
(給食試食会)

平成27年1月27日(火) 5校時

指導者 T1 3年担任 松本 容子  
T2 学校栄養職員 小野 綾子

1 単元名 三藤のお宝をさがそう～三藤の宝物発見！～

2 単元目標

- 藤田学区の農作物やその農家について調べたり、それらを実際に食べてみたりすることを通して、地域への愛着をもつことができる。(かかわる力)
- 藤田の農作物やその農家について自分なりの課題をもち、見学やインタビューをすることで、三藤の宝物は何かについて考えることができる。(課題解決力)
- 調べたことを整理して新聞などにまとめ、わかりやすく工夫して発表したり、友だちの発表について感想を返したりすることができる。(コミュニケーション力)
- 藤田の農作物や加工品を作っている人の苦労や工夫を知ること、食べ物に関心をもったり、感謝の気持ちをもって食べようとする。(実践力)

3 単元構想(別紙)

4 児童の実態

藤田学区は干拓地であり、さまざまな作物をつくる農業がさかんな地域である。大豆についても、以前は田んぼのあぜを有効利用し、多く作られてきた歴史がある。

3年生の子どもたちは2学期に国語科の「すがたをかえる大豆」を学習したことで、大豆には多くの栄養があることや、味噌や豆腐などのさまざまな食品となって食べられていることなどについて学習してきている。しかし、大豆が加工されて食べられていることについてよく知る反面、なぜ大豆が加工されて食べられているのかという理由や、藤田学区で大豆を加工して多くの人に食べてもらう活動をされている方々がいることなどについては知らない。また、実際に大豆から豆腐作りなどを経験した児童は少なく、知識はあるものの実体験は十分とは言えない。

5 単元について

3年生の総合的な学習の時間のテーマは「三藤のお宝をさがそう」である。はじめての総合的な学習の時間ということもあり、まずは実際の農家を見て回り、知るところから活動を始めている。

「ふれる」段階では、学区のいちご農家・玉ねぎ農家に見学に行き、それらについて見聞きしたことをまとめる活動を行った。総合的な学習の時間とはどのような学習かを知るとともに、今まで身近ではあったものの詳しく見ることのなかった農業の様子を見たり、知りたいことを農家の方にインタビューしたりする経験を積むことで、これからの学習の導入的内容となると考えた。

「つかむ」段階では、学区のレンコン農家に絞って見学・調査を行った。まず、みんなでレンコンを調理して食べてみて「おいしい」と感じることで学習への意欲をもたせた。そして1学期と同じように農家への見学を行い、話を聞いてメモを取り、学習したことを個人でまとめる活動を行った。

「追求する」段階ではさらに、見学後調べたことを加え、グループごとにまとめて伝え合った。農家の方がおいしいレンコンを育てるためにされてきた工夫や苦労にも気づくことができた。

「活かす」段階では、藤田学区で大豆を味噌や豆腐に加工して多くの人に食べてもらおうと活動されているJA女性部の方と豆腐作りを体験したり、お話を聞いたりする。それらの活動を通して、JA女性部の方が経験されてきた苦労や工夫、そしてどんな思いをもってその活動をされているかに気づくことができるようにしたい。

以上4つの段階を通して、藤田には広大な農地で作物を作るさまざまな名人がいることや藤田でとれた作物で加工品を作り、その良さを広めている人がいることを知ることで藤田に愛着をもつことができるようにしたい。

## 6 研究テーマとの関連

本校の研究テーマ「人・社会・自然などと自分とのつながりに関心をもち、主体的にかかわろうとする子どもの育成」及び食育部研究主題「食の大切さを知り、自分の生活にいかそうとする子どもの育成」にせまるために、次のような手立てを工夫していく。

### (1) 自分とのかかわり

「自分の課題について、大まかな見通しをもって追求することができる」ための工夫

- ・ JA 女性部の方がなぜ味噌と豆腐を作っているのかについて、2 学期までの学習を振り返りながら予想させることで見通しをもって調べることができるようにする。
- ・ 国語科の「すがたをかえる大豆」の学習と結びつけることで、課題をつかみやすくする。
- ・ 単元の導入時に JA 女性部の方が作った味噌と豆腐を食べることで、興味関心をもたせる。
- ・ 子どもたちにとって身近な給食に味噌と豆腐がどのくらい給食に出ているか調べることで、自分たちの食生活に味噌と豆腐が大きくかかわっていることを実感できるようにする。

「学習を通して培った自分の考えや思いを今までの自分の生活と重ねて考え、自分の生活に活かすことができる」ための工夫

- ・ 藤田の農作物や加工品を作っている人の苦労や工夫を知ったり、思いにふれたりすることで、感謝の気持ちをもって食べようとするようにすることができるようにする。
- ・ 藤田の農作物が自分の食生活と大きく関わっていることを知ることで、食べ物に関心をもつことができるようにする。

### (2) 他者（人・もの・こと）とのかかわり

「自分のまわりの人や自然に進んでかかわり、地域で行われている工夫や努力に気づくことができる」ための工夫

- ・ JA 女性部の方にインタビューをすることで、JA 女性部の方がどんな思いをもってこの活動をされているかに気づくことができるようにする。
- ・ JA 女性部の方と一緒に豆腐作りを体験することで、JA 女性部の方の技術のすばらしさや、今までされてきた苦労や工夫に気づくことができるようにする。
- ・ 藤田の農作物を使って加工品を作る活動を調べて新聞などにまとめて発表する場を設けることで、友だちの考えを知り、それについて意見や感想を言うことができる。

## 7 食に関する指導の視点

- いろいろな食品や料理の名前がわかる。 【食品を選択する能力】
- 健康に過ごすためには食事が大切なことがわかる。 【心身の健康】
- 食事は多くの人々の努力があって作られることを知り、感謝の気持ちをもって食べることができる。 【感謝の心】
- 地域の産物に興味をもち、日常の食事と関連づけて考えることができる。 【食文化】

## 8 本時について

前時に、「JA 女性部の方はなぜ味噌と豆腐を作る活動をしているのだろうか。」という問題を提起し、それについて予想を立てる。「藤田で大豆を作っているからではないか。」や「味噌と豆腐に栄養があるからではないか。」といった予想が出てくると思われる。本時では、導入の部分で、その予想の中の「味噌と豆腐そのものに良さがあるからではないか。」と考えたものについて取り上げることで、味噌と豆腐の良さを意識することができるようにしたい。そして、給食の献立に味噌と豆腐が多く出されていることから、味噌と豆腐が自分の食生活に大きく関わっていることに気づくことができるようにする。



9 本時案

| 目標                          | 給食の献立を調べたり学校栄養職員の話の聞いたりする活動を通して、味噌と豆腐の良さを考えることができる。   |   |
|-----------------------------|---|---|
| 学習活動                        | 教師の支援   | 評価  |
| 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時に、JA女性部の方が味噌と豆腐を作る理由を予想したことを想起させ、味噌と豆腐に何かひみつがあるからではないかと予想したことを振り返り、本時のめあてをつかみやすくする。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤田で大豆を作っているから。</li> <li>・ おいしいから。</li> <li>・ えいようがあるから。</li> </ul> </div>   |   |
| みそと豆腐のひみつを見つけよう。            |   |   |
| 2 予想をたてる。                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語で「すがたをかえる大豆」を学習したことを想起させ、予想を立てやすくする。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ えいようがある。</li> <li>・ おいしい。</li> <li>・ よく食べられている。</li> </ul> </div>  |   |
| 3 給食の献立表などをもとに、味噌と豆腐のよさを探る。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分たちがどのくらい味噌と豆腐を食べているか調べるために、共通の食事である給食の献立表を使用することを知らせる。</li> <li>○ ある月の給食献立表の主要材料の項目から、味噌と豆腐が使われている部分を赤で囲み、味噌と豆腐が使用されている日付欄に赤シールを貼ることで、味噌と豆腐は、1か月の給食に何度も出るくらい身近な食品であることに気づかせる。</li> <li>○ 味噌と豆腐をよく食べていることや、いろいろな料理に使われていることについての気づきを共有しやすくするために、グループでの活動にする。</li> <li>● 給食の献立を例に、味噌と豆腐がどんな料理に使われているか知らせることで、味噌と豆腐が和食に限らず、様々な料理に使われていることに気づくことができるようにする。</li> <li>● 栄養の三色分け表に味噌と豆腐を位置づけることで、味噌と豆腐には体をつくる働きがあることを理解しやすくする。</li> <li>● 大豆そのものと比較することで、豆腐と味噌の消化・吸収のよさがわかるようにする。</li> <li>● 味噌の歴史について伝えることで、日本人の知恵や伝統的な食品になったことを理解できるようにする。</li> </ul> | <p>◎給食の献立表の中から、味噌と豆腐を見つけることができる。(活動・ワークシート)</p> <p>④味噌と豆腐が自分の食生活に大きく関わっていることに気づくことができる。(活動)</p> |
| 4 まとめをする。                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 味噌と豆腐のひみつをまとめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな料理に使える。</li> <li>・ 消化がよく、えいようがとりやすい。</li> <li>・ 昔から食べられている。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 味噌と豆腐のひみつについて分かったことや思ったことを書かせる。</li> <li>○ 次時は、味噌と豆腐を作る理由について実際にJA女性部の方にインタビューすることを伝え、次時への意欲をもたせる。</li> </ul>  | <p>○味噌と豆腐のひみつについて分かったことや思ったことを書くことができる。(ワークシート)</p>   |

○担任 ●学校栄養職員



## 授業反省

### < T 1 >

- ・ 子どもたちがとても緊張して、最初の予想を立てるところで時間がかかってしまったので、学習活動3の時間が短くなってしまった。
- ・ 総合的な学習の時間のねらいから、みそと豆腐を同時に扱ったので、子どもたちが混乱しないか心配だった。「豆腐のひみつ」「みそのひみつ」に分けてまとめるなどの工夫をした方がよかったのだろうか？
- ・ 給食の献立に印をつけた後、子どもたちに思った程感動がなかった。印をつける活動をしなくても、みそや豆腐をよく食べていることをよく知っていた。しかし、給食の献立を使うことで、最後に「給食にはこんなにいいものが使われている」という振り返りにつながったのはよかった。



### < T 2 >

- ・ 時間が短くなったので、担任との掛け合いなどが十分にできず、一方的にしゃべってしまった。
- ・ パン食が増えてきているので、日本で受け継がれてきた伝統の食べ物を知って欲しかった。しかし、3年生にわかるように説明するのは難しかった。



## 研究協議・指導講評

- ・ 予想のところでしっかりと考えさせたので、よい考えがたくさん出たし、子どもたちの主体的な学びになった。
- ・ 子どもたちが立てた予想に応じて深めていき、それをまた予想に対応してまとめていくという学習の流れが、子どもたちの思考の流れに合っていてとてもよかった。
- ・ T 1とT 2の役割が、きちんと打ち合わせされていてよかった。
- ・ 給食の献立を使うことで、栄養士が登場する必要感が生まれる。自分に身近なこととして捉えられるという点でもよかったのではないかと。子どもたちはとても楽しみながら活動できていた。他の食品と比較すれば、たくさん食べられていることが実感できたのではないかと。
- ・ 栄養だけでなく、作る人の思いや地域とのつながりもあり、とてもよい取組だと思う。
- ・ 学校栄養職員の話は、専門性があってよかった。写真などの資料もわかりやすかった。
- ・ 地域のみそを始めに食べてみるのは、とてもいい導入。
- ・ 「ひみつ」という言葉が漠然としていて、子どもたちにはわかりにくかったのではないかと。「大豆のパワーを見つけよう」などの目標の方がよかったのではないかと？
- ・ 「すがたをかえる大豆」の振り返りがもう少しできていれば、予想が出やすかったのではないかと。
- ・ 学習を深める活動のところが時間が短くなってしまったのが残念だった。
- ・ 説明の情報量が多すぎた。もう少し内容をしぼることと、栄養士の説明から担任が必要なものを選び、整理してまとめるとわかりやすかった。
- ・ 話が広がりすぎてしまったので、3色分けは、今回は必要なかったのではないかと？
- ・ 「油揚げ」や「厚揚げ」などの加工品の扱いが難しい。
- ・ 学びを今後の自分の生活に活かせるような取組を大切にしたい。家庭に負担をかけない程度に伝えていくことも必要。
- ・ 保健指導、図書指導等との連携も考えてみてはどうか。





平成26年6月20日(水) 3校時

指導者 T1 専科  
T2 学校栄養職員

板倉 真由美  
小野 綾子

## 1 単元名 プロジェクト八十八 ～20年後の藤田の米作りについて考えよう～

### 2 単元目標

- 藤田の米作りのいいところや問題点から自分なりの課題をもち、提案書を作成することを通して20年後の藤田の米作りについて考えることができる。(課題解決力)
- 米作りに携わっている人たちへの取材や交流を通して、米作りのための工夫や努力に気づき、地域に愛着をもつことができる。(かかわる力)
- 作成した提案書をもとに資料を提示しながら説明や提案をしたり、友だちの考えを聞いて質問や助言をしたりすることができる。(コミュニケーション力)
- 社会の一員として、今の自分にできることを考え、実践しようとするすることができる。(実践力)

### 3 児童の実態

藤田は干拓地であり農業がさかんな地域である。両親や祖父母が米作りをしていたり、1年生の時から学校田で田植えと稲刈りの体験をしてきたりしているため、児童にとって米作りは身近なものである。しかし実際の米作りの作業やお米の品種などについてはほとんど知らない。

学習の始めに「藤田に米作りは必要か?」と投げかけてみた。「必要」と答えた児童が28名中27名と大多数であったが、「田んぼではなくお店があった方がいい。」「お米は他の県から買えばいい。」と考える児童もいた。また、藤田に農業は必要と考える反面、「将来農業をしたいか?」との問いに「はい」と答える児童はほとんどおらず、その理由としては「ダサい感じがする」「大変そう」「儲かりそうにない」というものだった。この結果から、地域の農業後継者クラブ方7名に来ていただき、直接話を聞くことにした。若い専業農家の方の話を聞くうち、「もっと農業について知りたい」「農業のイメージが変わった」と話す児童が出てきた。

そこで、「20年後の藤田の米作りがどういう姿になっているとよいと思うか」を米作りのよい点と問題点を手がかりに自分なりの考えをもち、一人ひとりが提案書を作成していく。バケツ稲による比較実験やフィールドワークでのインタビュー、お米の食べ比べなど、実際に自分たちの手で調べたことを根拠にすることで、実感をともなった提案書を作成させたい。

### 4 単元について

藤田中学校区における5年生の総合的な学習の共通テーマは「藤田に農業は必要か」である。児童は3年生の総合的な学習の時間で、地域の農業について学習している。レンコンの栽培法やおいしい食べ方などを教わることで、自分たちの地域には素晴らしい作物があり、それをつくる名人がいることを学んでいる。また、本校では、毎年5年生が中心となって、学校田でもち米を育てる活動をしている。5年生は、社会科で日本の農業や食料生産についても学ぶので、自分たちの住んでいる藤田学区の米作りを学習の場にするによって、課題の設定・情報の収集・まとめ発信という探究的な学習に意欲をもって取り組むことができると考えた。また、当たり前のように見慣れたこの水田は、栽培する人のいろいろな思いが込められ、地域の人たちの努力に支えられている素晴らしい財産であることに気づくことで、さらに郷土を大切に思う気持ちが深まることを期待している。

「ふれる」段階では、「藤田に米作りは必要か」というテーマで話し合った。実際にもみ蒔きを体験し、自分の手で苗を育てたり、社会科で農業について学んだりすることで、米作りに興味をもつ児童が増えると考えた。また、実際に米作りをされている農家の方に話を聞く機会を設けた。農業に対する思いや食を担う農業の大切さを知ることで、「米作りは必要だ」と考える児童が増えると考えた。さらに、「主食としてのお米のよさ」についても学習することで、提案を考える際の視点を増やすと同時に、より身近な問題としてとらえられると考えた。

「つかむ」の段階では、児童一人ひとりが「20年後の藤田の米作りがどうなっているとよいか」という自分なりの考えをもち、農家の方から聞いた農業のよい点と問題点の両面から考えることで、具体的な課題をもちやすくなると思った。また、いくつかの種類の種類を入手し、実際に自分たちの手でバケツ稲を育てて観察や比較実験をすることで、課題解決の手がかりとしたい。

「追求する」の段階では、フィールドワークで米作りに携わっている人たちにインタビューをして教わったことや、バケツ稲を使って調べたことをもとに、自分たちの思い描く20年後の藤田の米作りについての提案書を作成する。まずは一人ひとりで「藤田の米作りがどうなるとよいか」という自分の課題について調べ、提

案書を作成する。

「生かす」の段階では、グループで提案書を見直す。まず、一人ひとりが作成した提案書について友だちと考えを交流し、互いの提案についてのメリット・デメリットを洗い出す。次に似た考えをもつ児童のグループで、そのデメリットを解決する方法を考える。その際に地域の農業後継者クラブの方々と共に考える機会をもつようにする。例えば安全なお米作りするための「手間がかかる」というデメリットを解決しようとする、  
「機械化するとお金がかかる」という新たなデメリットが生まれ、解決することは難しい。その中で地域の農家の方々がどんな努力や工夫をしたり、何を大切にしているのかに気づかせたい。そして、そんな農家の方々の努力や工夫を知ること、自分の故郷である「藤田」を誇りに想う気持ちを育てたい。また、今の自分たちにできることを考え実践することで、自分たちの生活をふりかえるきっかけとしたい。

## 5 研究テーマとの関連

本校の研究テーマ「人・社会・自然などと自分とのつながりに関心を持ち、主体的にかかわろうとする子どもの育成」及び食育部研究主題「食の大切さを知り、自分の生活に活かそうとする子どもの育成」にせまるために、次のような手立てを工夫していく。

### (1) 自分とのかかわり

「調べた事実を関連づけて自分の考えをもつことができる」ための工夫

- ・ 農家の方から、農業のよいところと問題点の両面から話を聞くことで、課題意識をもって学習に取り組めるようにする。
- ・ 「20年後の米作りはどうなっているとよいか」について話し合い、「こうなって欲しい」という自分なりの考えを初めにしっかりともちたせることで、何について調べればよいのか見通しをもち、調べ学習に入れるようにする。
- ・ お米について、栽培法、農業機械、販売、栄養、調理など、様々な側面から迫ることで、それぞれのつながりに気づいたり、多様な考えをもったりできるようにする。
- ・ バケツ稲による比較実験、お米の食べ比べ、アンケートなど、自分たちの手で実際に調べたことを根拠に提案書を作成することで、実感を伴った提案書になるようにする。
- ・ 地域にフィールドワークに出かけ、米作りに携わっている方たちに直接質問する機会をもたせることで、地域の方の思いや願いにもふれることができるようにする。
- ・ 違う考えをもった友だちや農業後継者クラブの方と考えを交流する機会をもち、「よりよい米作り」には様々な考えや見方があることに気づくことで、更に自分の考えを見直し、米作りについて深く考えることができるようにする。

「社会の一員としてまわりに働きかけながら自分ができる活動をしようとするができる。」ための工夫

- ・ 農家の方の思いにふれることで、今の自分の食生活をふり返り、感謝の気持ちをもって食べることができるようにする。
- ・ 日本の抱える農業問題が、今の自分の生活とつながっていることに気づくことで、生活を見直したり、自分にできることを考えて実践したりすることができるようにする。

### (2) 他者（人・社会・自然）とのかかわり

「自分のまわりの人や自然に進んでかかわり、関心の対象を広げ、人々の工夫や努力に気づき、社会への関心を広げることができる」ための工夫

- ・ 地域の農家や農業後継者の方と何度も交流し、思いや考えを聞く機会を設定することで、どんな思いをもって農業に取り組んでいるかに気づけるようにする。
- ・ 調べ学習と学校田やバケツ稲の実践を平行して行うことで、調べたことを実感したり、栽培活動に活かしたりできるようにする。
- ・ 農家、JA、栄養士など、米に関わる様々な立場の人から学ぶことで、農業や農産物に対する視野を広げることができるようにする。

## 6 食に関する指導の視点

- 日常の食事に興味・関心をもつ。
- 栄養のバランスのとれた食事の大切さがわかる。
- 五大栄養素と食品の3つの働きがわかり、好き嫌いせずに食べることができる。
- 生産者や自然の恵みに感謝し、残さず食べることができる。
- 特産物を理解し、日常の食事と関連づけて考えることができる。

- 【食事の重要性】
- 【心身の健康】
- 【心身の健康】
- 【感謝の心】
- 【食文化】

7 本時案

| 目 標                                | 給食に、なぜ多くのお米が使われているのかを考える活動を通して、お米のよさに気づくことができる。  |                                  |
|------------------------------------|--|----------------------------------|
| 学習活動                               | 教 師 の 支 援  | 評 価                              |
| 1 給食に米がたくさん使われていることを知り、本時のめあてをつかむ。 | <p>○精白米、もち米、玄米、タイ米から給食のお米がどれかを当てるクイズをすることで、興味をもって学習に入れるようにする。</p> <p>○給食の献立の中から、米の食品を見つけさせることで、ほぼ毎日給食でお米を食べていることに気づかせる。(精白米・玄米)</p> <p>○●他にも給食には米製品がたくさん使われていることを紹介し、調味料を含めた献立表を見せることで、お米が給食に欠かせない食材であることを実感させ、本時のめあてをつかませる。<br/>(米粉パン、米粉麺、米酢、料理酒、みりん、味噌など) ☆様々なものに加工される</p>   |                                  |
| なぜ給食にはこんなにお米が使われているのだろう？           |  |                                  |
| 2 予想をたてる。                          | <p>○これまでの知識をもとに予想を立てることで、学習の見通しをもつことができるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養があるから</li> <li>・手に入りやすいから</li> <li>・たくさんあるから</li> <li>・いろいろな料理になるから</li> <li>・日本の主食だから</li> <li>・安いから</li> </ul> </div>  | ○課題に対する予想を立てることができている。(ワークシート)   |
| 3 給食の献立表をもとにお米が多く使われる理由を探る。        | <p>○日本のお米の生産量を提示することで、お米が日本でたくさん穫れていることや、日本の「主食」であることを確認する。</p> <p>●主食という面から、おかずに注目させることで、和食のおかずだけでなく、洋食や中華にも合う食材であることに気づかせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">☆いろいろなおかずに合う</div> <p>●ご飯を主食にすることで、おかずとして様々な栄養がとりやすくなるという利点や、腹もちのよさにもふれることで、主食としてのすばらしさにも気づけるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">☆腹もちがいい、バランスがよくなる</div> <p>○赤・黄・緑の栄養素に分類することで、大切なエネルギー源になっていることがわかるようにする。</p> <p>●栄養士から、赤・黄・緑の栄養素をもとに話を聞くことで、お米のもつ栄養価の豊富さに気づけるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">☆様々な栄養素が含まれている</div> <p>○和食が世界文化遺産に認定されたことにふれ、世界に認められたすばらしい食材であることがわかるようにする。</p> |                                  |
| 4 本時のまとめをする。                       | <p>○ワークシートに「なぜ給食にはこんなにお米が使われているのか」という課題の答えをまとめることで、お米のよさについて意識づけできるようにする。</p> <p>○感想を書かせる際に、助言をすることで、自分の生活をふり返ったり、活かしたりしていけるようにする。</p>   | ○課題に対する自分の考えを書くことができている。(ワークシート) |
| 5 次時の学習を知る                         | <p>○お米のよさに反して、消費量が減少している資料を提示し、問題提起することで、自分の提案を考える上での手がかりになるようにし、次時には具体的な提案を考えることを知らせる。</p>  |                                  |

○ T 1      ● T 2

5年総合的な学習の時間 単元構想 (全85時間) 藤田中学校区5年生共通テーマ『藤田に農業は必要か?』

＜育みたい力＞

- 調べた事実を関連づけて自分の考えをもつことができる。(課題解決力) ESD②
- 自分や学年全体の課題について見通しをもって追求することができる。(課題解決力) ESD①
- 自分やまわりの人や自然に進んでかわり、関心の対象を広げ、人々の工夫や努力に気づき、社会への関心を広げることができる。(かかわる力) ESD③
- 目的や意図に添じ、資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすることができる。(コミュニケーション力) ESD④
- 社会の一員としてまわりに働きかけながら自分ができる活動をしようとすることができる。(実践力) ESD⑦

| 段階      | 学習過程   | 他教科との関連  | その他  |
|---------|--|--|--|
| ふれる(⑩)  | <p>藤田の農業について話し合おう。</p>   | <p>社会<br/>「米作りのさかんな地域」「さまざまな土地のくらし」</p> <p>国語<br/>「きいて、きいて、きいてみよう」<br/>(インタビューの仕方)<br/>理科<br/>「植物の発芽と成長」</p> <p>国語<br/>「次への一歩活動報告書」</p> <p>家庭科<br/>「五大栄養素のはたらき」</p>                              | <p>協力依頼<br/>地域の方</p>   |
| つかむ(⑩)  | <p>個人でテーマを決めて調べ、提案書を作ろう。</p>   | <p>社会<br/>水産業のさかんな地域」</p> <p>家庭科<br/>「ごはんをみそしる」</p> <p>国語<br/>「わたしたちの『図書館改造』提案」<br/>「インターネットを使って調べよう」<br/>「グラフや表を引用して書きよう」</p> <p>社会<br/>「これからの食料生産」</p>   | <p>岡山大学<br/>興陽高校<br/>地域の方</p> <p>岡山大学<br/>興陽高校<br/>地域の方</p>  |
| 追求する(⑩) | <p>「藤田に米作りは必要か?」について話し合う。</p> <p>必要!<br/>おじいちゃんやおばあちゃんが田んぼを守ってきたから、そのために干拓した土地だから、藤田といえは田んぼは必要ない!<br/>田んぼよりお話を聞いて、他から買えばいい。</p> <p>農業のよい点や問題点について話を聞こう。</p> <p>食料としてのお米について学ぼう(本時)</p> <p>20年後、今の米作りがどうなっているのかをいろいろ考える。</p> <p>個人でテーマを決める。</p> <p>テーマに沿って調べる。</p> <p>バケツ稲で実験。<br/>・1本の苗からとれる量。<br/>・品種によってどんな病気になるか。<br/>・どんな病気になるか。<br/>・どんな虫が出るか。</p> <p>アヒル農法の見学(興陽高校)</p> <p>アヒルをつかって安全な米作りができるんだね。お米は高い値段で売られるんだって。でも手間がかかって大変みたいだよ。</p> <p>アヒル農法のよさ<br/>・興陽高校の取組</p> <p>フィールドワーク<br/>興陽高校<br/>種籾農家<br/>JA<br/>大規模農家</p> <p>インターネット・その他調査<br/>様々な品種の食べ比べ<br/>・栄養士の先生の話</p> <p>「自分の考えをまとめ、提案書をつくる。」</p> <p>友達と考えを交流する。<br/>「履帯を使うと作業が楽になるんだよ。でも、お金がかかるよ。どうする?」</p> <p>提案書の意見交換会をする。<br/>・クラスの友だちや農業後継者クラブの方と意見交換をする。</p> <p>提案書を送信する。</p> <p>自分たちでできる事を計画し、実践する。</p> | <p>＜三藤田での米作り＞<br/>(含) 学校行事 (⑩)</p> <p>○もみまきをずする。<br/>・もみまきの仕方について地域のの方に教わる。<br/>・手作業でもみをまく。</p> <p>○たねもみの観察をする。<br/>・違う種類のたねもみもみをして観察する。<br/>○苗を育てる。</p> <p>○田植えをする。(全校行事)<br/>・全校に植え方を説明する。</p> | <p>社会<br/>水産業のさかんな地域」</p> <p>家庭科<br/>「ごはんをみそしる」</p> <p>国語<br/>「わたしたちの『図書館改造』提案」<br/>「インターネットを使って調べよう」<br/>「グラフや表を引用して書きよう」</p> <p>社会<br/>「これからの食料生産」</p> |
| 活用(⑩)   | <p>意見と考えを交流し自分たちでできることを考えよう。</p>   | <p>国語(本時2)<br/>「すいません!」算数<br/>「百分率 割合のグラフ」</p>   | <p>農業<br/>後継者</p>  |

| 岡山市立第三藤田小学校 ESDカレンダラー 5年生 |     | 4月  | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------------------------|-----|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 目標                        | ① ② | ① ② | ③  | ④  | ⑤  | ⑥  | ⑦  | ⑧   | ⑨   | ⑩   | ⑪  | ⑫  | ⑬  |
| 社会                        | ① ② | ③   | ④  | ⑤  | ⑥  | ⑦  | ⑧  | ⑨   | ⑩   | ⑪   | ⑫  | ⑬  | ⑭  |
| 算数                        | ① ② | ③   | ④  | ⑤  | ⑥  | ⑦  | ⑧  | ⑨   | ⑩   | ⑪   | ⑫  | ⑬  | ⑭  |
| 理科                        | ① ② | ③   | ④  | ⑤  | ⑥  | ⑦  | ⑧  | ⑨   | ⑩   | ⑪   | ⑫  | ⑬  | ⑭  |
| 総合                        | ① ② | ③   | ④  | ⑤  | ⑥  | ⑦  | ⑧  | ⑨   | ⑩   | ⑪   | ⑫  | ⑬  | ⑭  |
| 環境教育                      | ① ② | ③   | ④  | ⑤  | ⑥  | ⑦  | ⑧  | ⑨   | ⑩   | ⑪   | ⑫  | ⑬  | ⑭  |
| 道徳                        | ① ② | ③   | ④  | ⑤  | ⑥  | ⑦  | ⑧  | ⑨   | ⑩   | ⑪   | ⑫  | ⑬  | ⑭  |
| 家庭科                       | ① ② | ③   | ④  | ⑤  | ⑥  | ⑦  | ⑧  | ⑨   | ⑩   | ⑪   | ⑫  | ⑬  | ⑭  |
| 学習指導                      | ① ② | ③   | ④  | ⑤  | ⑥  | ⑦  | ⑧  | ⑨   | ⑩   | ⑪   | ⑫  | ⑬  | ⑭  |

- 内容・心構面
- | 問題内容                                 | 問題内容                                 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| A 動物の発芽と生長に必要なもの                     | A 動物の発芽と生長に必要なもの                     |
| B 現在の米作りの問題点や、それに悩む人たちの努力、工夫         | B 現在の米作りの問題点や、それに悩む人たちの努力、工夫         |
| C それぞれの土地にあった農業やくらし方の工夫              | C それぞれの土地にあった農業やくらし方の工夫              |
| D 食がでるしくみ                            | D 食がでるしくみ                            |
| E 水産業における問題点や、それに悩む人たちの努力、工夫を米作りと比べる | E 水産業における問題点や、それに悩む人たちの努力、工夫を米作りと比べる |
| F 食料生産をよりよくするためのさまざまな取組や、今後の問題点      | F 食料生産をよりよくするためのさまざまな取組や、今後の問題点      |
| G お米のつくりかたや日本米のよさ                    | G お米のつくりかたや日本米のよさ                    |
| H 先人の努力を知り、継承を歌うる気持ち                 | H 先人の努力を知り、継承を歌うる気持ち                 |
| I お米の米量について                          | I お米の米量について                          |
| J 先人の努力を知り、継承を歌うる気持ち                 | J 先人の努力を知り、継承を歌うる気持ち                 |

- 長期計画
- | 年度 | 内容                   |
|----|----------------------|
| ①  | インクビュウの仕方            |
| ②  | 稲苗の育て方               |
| ③  | インターネットで調べるときの注意     |
| ④  | グラフや表の判別の仕方          |
| ⑤  | 調査の準備や、それを使ったグラフの書き方 |
| ⑥  | ご飯の炊き方               |
| ⑦  | 米量と食生活               |
| ⑧  | 平均の求め方               |
| ⑨  | 稲作するお米の話し方           |

### <研究協議>

○身近で共通体験である給食を教材として使ったのは、お米を毎日食べていることを実感させる手立てとしてよかった。

○米から作られる調味料の多さは、子どもたちの中に驚きがあってよかった。

○「なぜこんなにもお米が使われているのか？」の予想を、子どもたちはよく考えていた。

○栄養素の説明をする際の掲示物が、よく工夫されていてよかった。

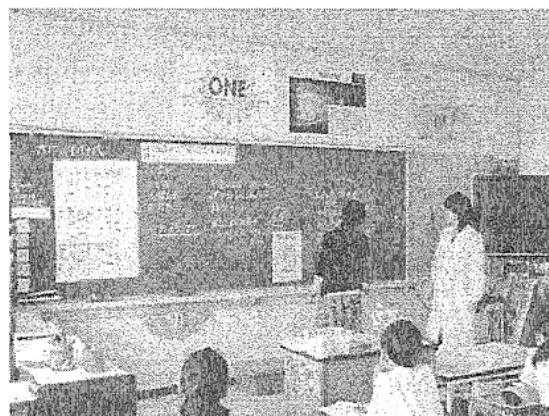
●献立の写真が見つらなかった。献立名を書いておくなどの工夫があればよかった。

●こちらが意図していたものとは違う予想が多く出てきた。

●子どもたちの立てた予想を具体的にしてやる内容にすることが、大切なのではないか。

●知識としては、お米のよさが理解できたと思うが、実感として捉えられたかは疑問。

●隣同士やグループで話し合う活動があるとよかった。



### <成果と課題>

○この授業を行ったことで、食としての「お米のよさ」を知るきっかけとなった。この後「20年後の藤田の米作り」についての提案書を書くにあたり、これに着目して、「和食のよさを広めることで、米作りを盛んにしたい」「お米を使った商品を開発したい」などの考えをもった児童が多くいた。

○米が、主食のご飯としてだけでなく、様々な食品や調味料として使われていることを知り、さらに給食でどれくらい食べているかを実感したことで、子どもたちにとってお米がさらに身近なものとなった。そのお米を生産している農業についての関心も高まったように思う。

○学校栄養職員とTTで授業を行うことで、子どもたちの中に聞きやすい雰囲気生まれ、この後の学習でも、質問に行く姿が見られた。

●お米についての知識は増えたが、それによってすぐに自分の食生活を振り返ったり、食生活に活かしたりすることは難しい。家庭科とのクロスカリキュラムなどを通じて、自分の生活に活かしていけるよう工夫していく必要がある。

#### (4) 成果と課題

##### ○成果

・様々な取組の成果で、「給食がすき」「まあ好き」と答えた児童が全体の85%を超え、「嫌い」と答えた児童は0%になっている。

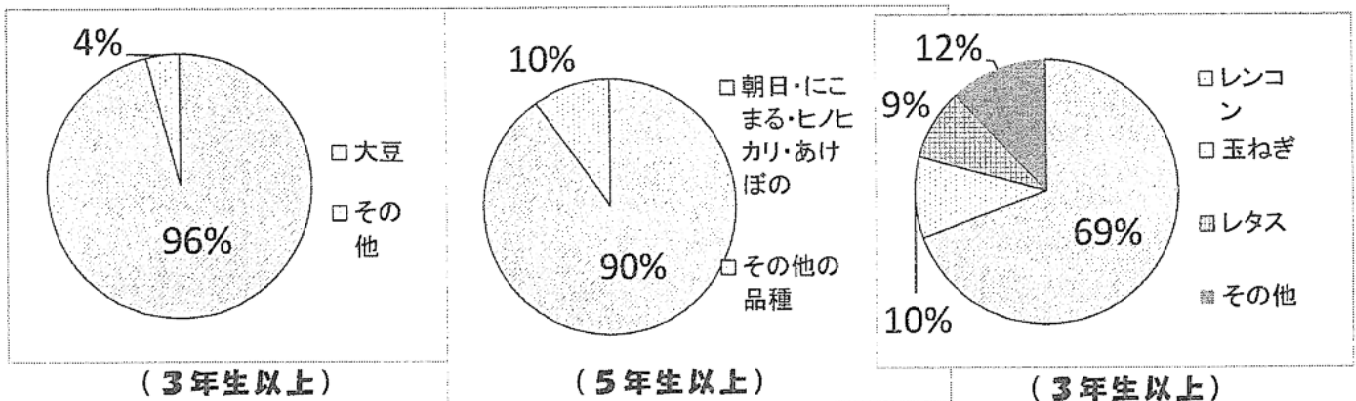
・給食にレンコンが出ると、「これは〇〇さんちのレンコンかなあ？」という発言や「このお米は何の品種だろう？」等の発言が聞かれる。また、給食に出ている地元産の食材をアンケートで尋ねると、3年生以上のほとんどの児童が「レンコン」「玉ねぎ」などの藤田の代表的な農産物をあげていた。

食に関する指導を、3年生、5年生の総合的な学習の時間の中に位置づけ、クロスカリキュラムで総合的・横断的に学習を行うことで、地域の農作物に興味をもったり、生産者の努力や工夫に感謝の気持ちをもったりすることができてきた。

豆腐は何からできていますか？

藤田でとれるお米の品種は？

例えば給食に出る地元の食材といえは？



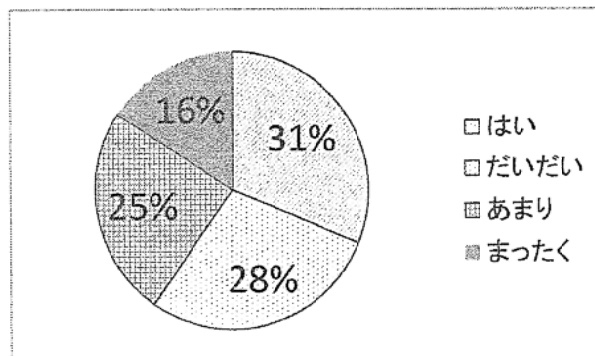
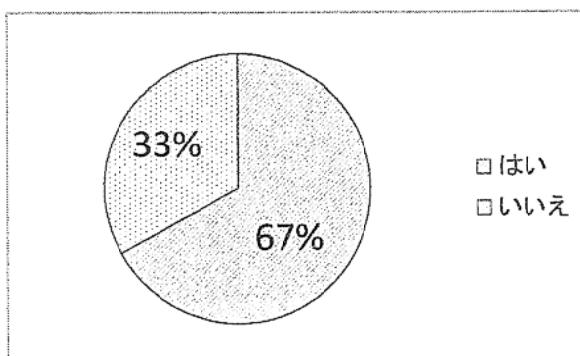
##### ○課題

・「食事を好き嫌いなく食べている」「日頃からバランスよく食べている」という児童の割合は、まだまだ低い。食に関する指導の全体計画及び年間計画を見直し、様々な教科・領域で食に関する指導をさらに充実させていきたい。

・学習をしている時には、「残さずに食べよう」「感謝して食べよう」という意識が高まり、意欲的に実践することができるが、それが生活の中に定着し、持続していくのは難しい。「食に関する様々なことは、すべて今の自分の生活とつながっていること」を意識し、自分の生活を振り返ることができるよう、授業実践でどのように位置づけていくのか、さらなる研究を進めていきたい。

日頃からバランスよく食べていますか？

食事の時、好き嫌いなく食べていますか？







# 食に関する指導の全体計画

岡山市立第三藤田小学校

|  |  |  |
|--|--|--|
| 児童の家庭<br>8学級の小規模校である。<br>児童は明るく活潑である。<br>・食指導の家庭<br>子育て指導を提示しており、自然に恵まれ、協同体的な性格が強く保たれている。教育に対する関心も高く協力的であり、学校への期待も大きい。 | 学校教育目標<br>郷土を愛し、心豊かでたくましい児童を育成する<br>・たくましくやりぬく子(健康・体力の向上)<br>・心身共に健康で、自分の目標に向かって最後までねばり強く取り組む子<br>・よく考える子(豊かな学力の育成)<br>・自分で考え、正しく判断し、課題解決に向けて行動できる子<br>・やさしく思いやる子(よりよい人間関係づくり)<br>・相手の立場や思いを考えながら、進んでかかわる子 | 文部科学省<br>「学習指導要領」<br>食育基本法<br>食育推進基本計画<br>岡山市教育振興基本計画<br>岡山市子育て支援<br>「自立する子どもの育成」<br>藤田地区コミュニティスクール<br>スローガン<br>「地域に学び未来を切り拓く藤田の子」 |
|--|--|--|



食に関する指導目標

生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることを目指し、児童一人一人が望ましい食生活の基礎・基本と食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにする。

- 食事の重要性、食事の喜び、楽しさの理解をする【食事の重要性】
- 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける【心身の健康】
- 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける【食品を選択する能力】
- 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々への感謝する心を育む【感謝の心】
- 食生活のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける【社会性】
- 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ【食文化】



| 幼稚園・保育園       | 各学年の発達段階に応じた食に関する指導の重点   |   |  | 中学校   |
|---------------|--|---|--|---|
|               | 低学年  | 中学年   | 高学年  |   |
| 友だちや先生と食べを楽しむ | 【食事の重要性】<br>・毎日の食事にはいろいろな食品が使われていることに興味関心をもち、食品の名前が分かる。<br>・毎日、おいしくごはんを食べることで1日を元気に過ごすことができる。<br><br>【社会性】<br>・基本的な食事マナーを身に付け、みんなと楽しく給食を食べることができる。 | 【食事の重要性】<br>・食べ物はその働きによって3つのグループに分けられることを知る。<br>【心身の健康】<br>・栄養のバランスを考え食事の心がけることができる。<br><br>【食品を選択する能力】<br>・食品の名前や働きを知る。<br>【社会性】<br>・協力して準備や後片付けをし、楽しい雰囲気の中で食事をすることができる。 | 【食事の重要性】・自分の食生活を見つめ直し、規則正しいバランスの良い食事が大切であることが分かる。<br><br>【心身の健康】・自分の健康を食事、運動、休養及び睡眠の生活習慣から考え、規則正しい生活を心がける。<br><br>【食品を選択する能力】・食生活で何をどう選ぶのかにより、どのくらい食べるかを身に付ける。<br>【感謝の心】・食料の生産・流通・消費にかかわる工夫や努力を知り、自分たちを支えてくれる人への感謝の気持ちをもつ。<br>【社会性】・食事のマナーについて考え、会話を楽しくしながら気持ちよく食事をすることができる。<br>【食文化】・自然の恵みを生かし、知恵と工夫で生み出された郷土料理を知り、大切にしていこうとする。 | 自分の生活や将来の課題を見つけ、望ましい食事の仕方や生活習慣を理解し、自らの健康を保持増進し、食事を通じて望ましい人間関係を構築する。 |

|               |   | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月   | 11月   | 12月   | 1月  | 2月  | 3月  |   |
|---------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特別活動          | 給食時間  | 低学年<br>①気持ちよく食べよう<健><br>②給食の準備や後片付けをきちんとしよう<社><br>③望ましい食習慣を身に付けよう<健>・社>   | ①気分よく食べよう<健><br>②給食の準備や後片付けをきちんとしよう<社><br>③望ましい食習慣を身に付けよう<健>・社>   | ①気分よく食べよう<健><br>②給食の準備や後片付けをきちんとしよう<社><br>③望ましい食習慣を身に付けよう<健>・社>   | ①みんなと仲良く食事をしよう<社><br>②食事の環境を整えよう<社><br>③食事と環境について考えよう<健>・社>   | ①みんなと仲良く食事をしよう<社><br>②食事の環境を整えよう<社><br>③食事と環境について考えよう<健>・社>   | ①みんなと仲良く食事をしよう<社><br>②食事の環境を整えよう<社><br>③食事と環境について考えよう<健>・社>   | ①みんなと仲良く食事をしよう<社><br>②食事の環境を整えよう<社><br>③食事と環境について考えよう<健>・社>   | ①みんなと仲良く食事をしよう<社><br>②食事の環境を整えよう<社><br>③食事と環境について考えよう<健>・社>   | ①みんなと仲良く食事をしよう<社><br>②食事の環境を整えよう<社><br>③食事と環境について考えよう<健>・社>   | ①みんなと仲良く食事をしよう<社><br>②食事の環境を整えよう<社><br>③食事と環境について考えよう<健>・社>   | ①みんなと仲良く食事をしよう<社><br>②食事の環境を整えよう<社><br>③食事と環境について考えよう<健>・社>   | ①みんなと仲良く食事をしよう<社><br>②食事の環境を整えよう<社><br>③食事と環境について考えよう<健>・社>           | ①みんなと仲良く食事をしよう<社><br>②食事の環境を整えよう<社><br>③食事と環境について考えよう<健>・社>           |
|               | 一斉指導等   | ・秋立の紹介<健><br>・食事のマナー<社><br>・準備と後片付け<社>  | ・秋立の紹介<健><br>・食事のマナー<社><br>・準備と後片付け<社>  | ・秋立の紹介<健><br>・食事のマナー<社><br>・準備と後片付け<社>  | ・給食の秋立紹介<健><br>・生活の理解<健>  | ・給食の秋立紹介<健><br>・生活の理解<健>  | ・給食の秋立紹介<健><br>・生活の理解<健>  | ・給食の秋立紹介<健><br>・生活の理解<健>  | ・給食の秋立紹介<健><br>・生活の理解<健>  | ・給食の秋立紹介<健><br>・生活の理解<健>  | ・給食の秋立紹介<健><br>・生活の理解<健>  | ・給食の秋立紹介<健><br>・生活の理解<健>  | ・給食の秋立紹介<健><br>・生活の理解<健>  | ・給食の秋立紹介<健><br>・生活の理解<健>  |
|               | 給食行事  | ・たてわり給食・お誕生日給食<br>・旗巻朝礼   | ・たてわり給食・お誕生日給食<br>・旗巻朝礼   | ・たてわり給食・お誕生日給食<br>・旗巻朝礼   | ・お誕生日給食   | ・お誕生日給食   | ・お誕生日給食   | ・お誕生日給食   | ・お誕生日給食   | ・お誕生日給食   | ・お誕生日給食   | ・お誕生日給食   | ・お誕生日給食   | ・お誕生日給食   |
|               | 学校行事  | ・1学期始業式・入学式・健康診断・遠足<br>・運動会   | ・1学期始業式・入学式・健康診断・遠足<br>・運動会   | ・1学期始業式・入学式・健康診断・遠足<br>・運動会   | ・1学期終業式・2学期始業式・山の学校の学校・チャレンジ集会  | ・1学期終業式・2学期始業式・山の学校の学校・チャレンジ集会  | ・1学期終業式・2学期始業式・山の学校の学校・チャレンジ集会  | ・1学期終業式・2学期始業式・山の学校の学校・チャレンジ集会  | ・1学期終業式・2学期始業式・山の学校の学校・チャレンジ集会  | ・1学期終業式・2学期始業式・山の学校の学校・チャレンジ集会  | ・1学期終業式・2学期始業式・山の学校の学校・チャレンジ集会  | ・1学期終業式・2学期始業式・山の学校の学校・チャレンジ集会  | ・1学期終業式・2学期始業式・山の学校の学校・チャレンジ集会  | ・1学期終業式・2学期始業式・山の学校の学校・チャレンジ集会  |
| 教科の連関         | 国語  | ・あつまれふゆのことは   | ・あつまれふゆのことは   | ・あつまれふゆのことは   | ・あつまれふゆのことは   | ・あつまれふゆのことは   | ・あつまれふゆのことは   | ・あつまれふゆのことは   | ・あつまれふゆのことは   | ・あつまれふゆのことは   | ・あつまれふゆのことは   | ・あつまれふゆのことは   | ・あつまれふゆのことは   |   |
|               | 社会  |   |   |   |   | ・もも畑があるよ<br>・工場があるよ<br>・お店があるよ  | ・もも畑があるよ<br>・工場があるよ<br>・お店があるよ  | ・もも畑があるよ<br>・工場があるよ<br>・お店があるよ  | ・もも畑があるよ<br>・工場があるよ<br>・お店があるよ  | ・もも畑があるよ<br>・工場があるよ<br>・お店があるよ  | ・もも畑があるよ<br>・工場があるよ<br>・お店があるよ  | ・もも畑があるよ<br>・工場があるよ<br>・お店があるよ  | ・もも畑があるよ<br>・工場があるよ<br>・お店があるよ  |   |
|               | 理科  |   |   |   |   | ・たねをまいて育てよう   | ・たねをまいて育てよう   | ・たねをまいて育てよう   | ・たねをまいて育てよう   | ・たねをまいて育てよう   | ・たねをまいて育てよう   | ・たねをまいて育てよう   | ・たねをまいて育てよう   |   |
|               | 生活  | ・がっこうたんけんをしよう<br>・やさしいなえをうえよう<br>・うさぎをうえよう、そだてよう、しゆうくししよう<br>・あきとともだちあきにもそだてよう<br>・じぶんでできることをしよう  | ・がっこうたんけんをしよう<br>・やさしいなえをうえよう<br>・うさぎをうえよう、そだてよう、しゆうくししよう<br>・あきとともだちあきにもそだてよう<br>・じぶんでできることをしよう  | ・がっこうたんけんをしよう<br>・やさしいなえをうえよう<br>・うさぎをうえよう、そだてよう、しゆうくししよう<br>・あきとともだちあきにもそだてよう<br>・じぶんでできることをしよう  | ・やさしいなえをうえよう<br>・やさしいおせわをしよう<br>・やさしいパーティーをしよう<br>・おいもパーティーをしよう   | ・やさしいなえをうえよう<br>・やさしいおせわをしよう<br>・やさしいパーティーをしよう<br>・おいもパーティーをしよう   | ・やさしいなえをうえよう<br>・やさしいおせわをしよう<br>・やさしいパーティーをしよう<br>・おいもパーティーをしよう   | ・やさしいなえをうえよう<br>・やさしいおせわをしよう<br>・やさしいパーティーをしよう<br>・おいもパーティーをしよう   | ・やさしいなえをうえよう<br>・やさしいおせわをしよう<br>・やさしいパーティーをしよう<br>・おいもパーティーをしよう   | ・やさしいなえをうえよう<br>・やさしいおせわをしよう<br>・やさしいパーティーをしよう<br>・おいもパーティーをしよう   | ・やさしいなえをうえよう<br>・やさしいおせわをしよう<br>・やさしいパーティーをしよう<br>・おいもパーティーをしよう   | ・やさしいなえをうえよう<br>・やさしいおせわをしよう<br>・やさしいパーティーをしよう<br>・おいもパーティーをしよう   | ・やさしいなえをうえよう<br>・やさしいおせわをしよう<br>・やさしいパーティーをしよう<br>・おいもパーティーをしよう       | ・やさしいなえをうえよう<br>・やさしいおせわをしよう<br>・やさしいパーティーをしよう<br>・おいもパーティーをしよう       |
|               | 家庭  |   |   |   |   |   |   |   |   |   | 見つめてみようわたしと家族の生活<br>・できるようになったかな家族の仕事<br>・五大栄養素のはたらき<br>・ごはんのみそ汁をつくらう   | 見つめてみようわたしと家族の生活<br>・できるようになったかな家族の仕事<br>・五大栄養素のはたらき<br>・ごはんのみそ汁をつくらう   | 見つめてみようわたしと家族の生活<br>・できるようになったかな家族の仕事<br>・五大栄養素のはたらき<br>・ごはんのみそ汁をつくらう | 見つめてみようわたしと家族の生活<br>・できるようになったかな家族の仕事<br>・五大栄養素のはたらき<br>・ごはんのみそ汁をつくらう |
|               | 図画工作<br>(体育<br>(保健領域)   | ・むしば予防ポスター<br>・給食の絵   | ・むしば予防ポスター<br>・給食の絵   | ・むしば予防ポスター<br>・給食の絵   | ・むしば予防ポスター<br>・給食の絵   | ・むしば予防ポスター<br>・給食の絵   | ・むしば予防ポスター<br>・給食の絵   | ・むしば予防ポスター<br>・給食の絵   | ・むしば予防ポスター<br>・給食の絵   | ・むしば予防ポスター<br>・給食の絵   | ・むしば予防ポスター<br>・給食の絵   | ・むしば予防ポスター<br>・給食の絵   | ・むしば予防ポスター<br>・給食の絵   | ・むしば予防ポスター<br>・給食の絵   |
| 道徳            | ・礼儀(給食前後に心をこめたあいさつをする。)<br>・生命尊重(生きていることへの喜びを認識し、生命を大切にすることを学ぶ。)<br>・尊敬・感謝(給食は、多くの人々の世話に支えられていることに気付く。)<br>・公徳心、規則の尊重(健康に気を付け、わがままをしない、規則正しい生活をする。) | ・礼儀(給食前後に心をこめたあいさつをする。)<br>・生命尊重(生きていることへの喜びを認識し、生命を大切にすることを学ぶ。)<br>・尊敬・感謝(給食は、多くの人々の世話に支えられていることに気付く。)<br>・公徳心、規則の尊重(健康に気を付け、わがままをしない、規則正しい生活をする。) | ・礼儀(給食前後に心をこめたあいさつをする。)<br>・生命尊重(生きていることへの喜びを認識し、生命を大切にすることを学ぶ。)<br>・尊敬・感謝(給食は、多くの人々の世話に支えられていることに気付く。)<br>・公徳心、規則の尊重(健康に気を付け、わがままをしない、規則正しい生活をする。) | ・礼儀(給食前後に心をこめたあいさつをする。)<br>・生命尊重(生きていることへの喜びを認識し、生命を大切にすることを学ぶ。)<br>・尊敬・感謝(給食は、多くの人々の世話に支えられていることに気付く。)<br>・公徳心、規則の尊重(健康に気を付け、わがままをしない、規則正しい生活をする。) | ・礼儀(給食前後に心をこめたあいさつをする。)<br>・生命尊重(生きていることへの喜びを認識し、生命を大切にすることを学ぶ。)<br>・尊敬・感謝(給食は、多くの人々の世話に支えられていることに気付く。)<br>・公徳心、規則の尊重(健康に気を付け、わがままをしない、規則正しい生活をする。) | ・礼儀(給食前後に心をこめたあいさつをする。)<br>・生命尊重(生きていることへの喜びを認識し、生命を大切にすることを学ぶ。)<br>・尊敬・感謝(給食は、多くの人々の世話に支えられていることに気付く。)<br>・公徳心、規則の尊重(健康に気を付け、わがままをしない、規則正しい生活をする。) | ・礼儀(給食前後に心をこめたあいさつをする。)<br>・生命尊重(生きていることへの喜びを認識し、生命を大切にすることを学ぶ。)<br>・尊敬・感謝(給食は、多くの人々の世話に支えられていることに気付く。)<br>・公徳心、規則の尊重(健康に気を付け、わがままをしない、規則正しい生活をする。) | ・礼儀(給食前後に心をこめたあいさつをする。)<br>・生命尊重(生きていることへの喜びを認識し、生命を大切にすることを学ぶ。)<br>・尊敬・感謝(給食は、多くの人々の世話に支えられていることに気付く。)<br>・公徳心、規則の尊重(健康に気を付け、わがままをしない、規則正しい生活をする。) | ・礼儀(給食前後に心をこめたあいさつをする。)<br>・生命尊重(生きていることへの喜びを認識し、生命を大切にすることを学ぶ。)<br>・尊敬・感謝(給食は、多くの人々の世話に支えられていることに気付く。)<br>・公徳心、規則の尊重(健康に気を付け、わがままをしない、規則正しい生活をする。) | ・礼儀(給食前後に心をこめたあいさつをする。)<br>・生命尊重(生きていることへの喜びを認識し、生命を大切にすることを学ぶ。)<br>・尊敬・感謝(給食は、多くの人々の世話に支えられていることに気付く。)<br>・公徳心、規則の尊重(健康に気を付け、わがままをしない、規則正しい生活をする。) | ・礼儀(給食前後に心をこめたあいさつをする。)<br>・生命尊重(生きていることへの喜びを認識し、生命を大切にすることを学ぶ。)<br>・尊敬・感謝(給食は、多くの人々の世話に支えられていることに気付く。)<br>・公徳心、規則の尊重(健康に気を付け、わがままをしない、規則正しい生活をする。) | ・礼儀(給食前後に心をこめたあいさつをする。)<br>・生命尊重(生きていることへの喜びを認識し、生命を大切にすることを学ぶ。)<br>・尊敬・感謝(給食は、多くの人々の世話に支えられていることに気付く。)<br>・公徳心、規則の尊重(健康に気を付け、わがままをしない、規則正しい生活をする。) |   |   |
| 総合的な学習の時間     |   |   |   | ・藤田のお室をさがそう   | ・やさしいまちづくり  | ・やさしいまちづくり  | ・やさしいまちづくり  | ・やさしいまちづくり  | ・やさしいまちづくり  | ・やさしいまちづくり  | ・やさしいまちづくり  | ・やさしいまちづくり  |   |   |
| 個別相談指導の方針及び取組 | ・朝食欠食率や好き嫌い等の実態調査の実施と結果公表<br>・アレルギー疾患や肥満等、個人の健康課題をもつ児童や保護者への生活・栄養相談   | ・朝食欠食率や好き嫌い等の実態調査の実施と結果公表<br>・アレルギー疾患や肥満等、個人の健康課題をもつ児童や保護者への生活・栄養相談   | ・朝食欠食率や好き嫌い等の実態調査の実施と結果公表<br>・アレルギー疾患や肥満等、個人の健康課題をもつ児童や保護者への生活・栄養相談   | ・朝食欠食率や好き嫌い等の実態調査の実施と結果公表<br>・アレルギー疾患や肥満等、個人の健康課題をもつ児童や保護者への生活・栄養相談   | ・朝食欠食率や好き嫌い等の実態調査の実施と結果公表<br>・アレルギー疾患や肥満等、個人の健康課題をもつ児童や保護者への生活・栄養相談   | ・朝食欠食率や好き嫌い等の実態調査の実施と結果公表<br>・アレルギー疾患や肥満等、個人の健康課題をもつ児童や保護者への生活・栄養相談   | ・朝食欠食率や好き嫌い等の実態調査の実施と結果公表<br>・アレルギー疾患や肥満等、個人の健康課題をもつ児童や保護者への生活・栄養相談   | ・朝食欠食率や好き嫌い等の実態調査の実施と結果公表<br>・アレルギー疾患や肥満等、個人の健康課題をもつ児童や保護者への生活・栄養相談   | ・朝食欠食率や好き嫌い等の実態調査の実施と結果公表<br>・アレルギー疾患や肥満等、個人の健康課題をもつ児童や保護者への生活・栄養相談   | ・朝食欠食率や好き嫌い等の実態調査の実施と結果公表<br>・アレルギー疾患や肥満等、個人の健康課題をもつ児童や保護者への生活・栄養相談   | ・朝食欠食率や好き嫌い等の実態調査の実施と結果公表<br>・アレルギー疾患や肥満等、個人の健康課題をもつ児童や保護者への生活・栄養相談   | ・朝食欠食率や好き嫌い等の実態調査の実施と結果公表<br>・アレルギー疾患や肥満等、個人の健康課題をもつ児童や保護者への生活・栄養相談   | ・朝食欠食率や好き嫌い等の実態調査の実施と結果公表<br>・アレルギー疾患や肥満等、個人の健康課題をもつ児童や保護者への生活・栄養相談   |   |
| 家庭・地域との連携     | 給食献立表と食育だよりの発行、学年・学級だより、保健だより、給食試食会、給食運営委員会、学校保健委員、スクールランチセミナー  | 給食献立表と食育だよりの発行、学年・学級だより、保健だより、給食試食会、給食運営委員会、学校保健委員、スクールランチセミナー  | 給食献立表と食育だよりの発行、学年・学級だより、保健だより、給食試食会、給食運営委員会、学校保健委員、スクールランチセミナー  | 給食献立表と食育だよりの発行、学年・学級だより、保健だより、給食試食会、給食運営委員会、学校保健委員、スクールランチセミナー  | 給食献立表と食育だよりの発行、学年・学級だより、保健だより、給食試食会、給食運営委員会、学校保健委員、スクールランチセミナー  | 給食献立表と食育だよりの発行、学年・学級だより、保健だより、給食試食会、給食運営委員会、学校保健委員、スクールランチセミナー  | 給食献立表と食育だよりの発行、学年・学級だより、保健だより、給食試食会、給食運営委員会、学校保健委員、スクールランチセミナー  | 給食献立表と食育だよりの発行、学年・学級だより、保健だより、給食試食会、給食運営委員会、学校保健委員、スクールランチセミナー  | 給食献立表と食育だよりの発行、学年・学級だより、保健だより、給食試食会、給食運営委員会、学校保健委員、スクールランチセミナー  | 給食献立表と食育だよりの発行、学年・学級だより、保健だより、給食試食会、給食運営委員会、学校保健委員、スクールランチセミナー  | 給食献立表と食育だよりの発行、学年・学級だより、保健だより、給食試食会、給食運営委員会、学校保健委員、スクールランチセミナー  | 給食献立表と食育だよりの発行、学年・学級だより、保健だより、給食試食会、給食運営委員会、学校保健委員、スクールランチセミナー  | 給食献立表と食育だよりの発行、学年・学級だより、保健だより、給食試食会、給食運営委員会、学校保健委員、スクールランチセミナー        |   |

※<>内は、食に関する指導の内容を示す。 <健>食事の重要性 <健>心身の健康 <選>食品を選択する能力 <感>感謝の心 <社>社会性 <文>食文化

平成27年2月10日(火) 2校時

指導者 5年担任 菅井 憲人  
学校司書 尾島 朋子

1 単元名 「すいせんします」

2 単元目標

- (1) 収集した知識や情報に関連づけて、目的や意図に応じた話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。
- (2) 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。

3 指導計画(全7時間)

- |       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 第1時   | モデルから、学習の見通しをもつ。              |
| 第2時   | モデルをもとに構成や表現の工夫を見つける。         |
| 第3時   | 推薦する作家を決め、理由を明確にするための資料を収集する。 |
| 第4・5時 | 構成や表現を考えて、原稿をつくる。             |
| 第6時   | モデルをもとに話し方の工夫をする。(本時)         |
| 第7時   | 推薦を発表し、説得力のある推薦ができたか振り返る。     |

4 研究テーマとの関連

本校の研究テーマ「人・社会・自然などと自分とのつながりに関心を持ち、主体的にかかわろうとする子どもの育成」にせまるために、次のようなことを工夫していく。

(1) 自分とのかかわり

「自分や学年全体の課題について見通しをもって追求することができる。」ための工夫

- ・ 説得力のある推薦をするために、内容と話し方の2つに分けて考えさせる。
- ・ モデルを示して考えさせることにより、より説得力のある推薦にするためにどうすればよいか考えやすいようにする。
- ・ 実際にモデルを示すことで、学習の見通しがもてるようにする。

(2) 他者とのかかわり

「目的や意図に応じ、資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすることができる。」ための工夫

- ・ 目的や意図に応じ、資料を提示しながら説明できるようにするために、話し方の工夫を見つけることができるようなモデルをつくる。
- ・ 実際に資料を提示しながら発表できるようにするために、図書館を活用する。
- ・ モデルを提示することにより、より説得力のある推薦のしかたについて実感することができるようにする。
- ・ 発表会では、推薦を聞くときの観点に沿って相互評価をすることで、助言をしやすくできるようにする。
- ・ 推薦したことを自分の生活にいかすことができるようにするために、推薦する目的や条件を本や作家に設定する。

5 本時案（第6時）

| 目 標   | モデルから、説得力のある話し方をするための工夫を見つけることで、自分の推薦にいかすことができる。   |                                       |
|---|--|---------------------------------------|
| 学 習 活 動   | 教 師 の 支 援  | 評 価                                   |
| 1 前時を振り返り、本時のめあてをつかむ。   | ○ 話し方の工夫がない推薦では、聞き手の受け取り方が異なることに気づかせることで、本時のめあてをつかむことができるようにする。  |                                       |
| 話し方の工夫をして、より説得力のあるすいせんにしよう。   |  |                                       |
| 2 モデルから、話し方の工夫を見つける。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取り入れてほしい話し方を意図的にモデルに入れ、実際に見せることにより、視覚的に話し方の工夫を見つけられるようにする。</li> <li>○ 原稿をもたせることで、どこで話し方の工夫をしたのか分かりやすくする。</li> <li>● 子どもの見つけた話し方の工夫について、なぜその工夫したのか話すことにより、どんなところで使えばよいか分かるようにする。</li> <li>○ 「話し方のポイント」としてまとめることにより、意識しながら練習することができるようにする。</li> </ul> | ○ 話し方の工夫を見つけることができる。<br>(観察・発言)       |
| <p>&lt;話し方のポイント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に資料を指し示している。(分かりやすく)</li> <li>・声の強弱，速さ，間を工夫している。(大事なところ)</li> <li>・相手を見て話している。</li> </ul> |  |                                       |
| 3 自分が取り入れたい話し方を決め、練習をする。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 原稿に赤字で工夫を書き込むことで、意識して、練習できるようにする。</li> <li>○ ペアで練習をすることにより、相手を意識して練習できるようにする。</li> <li>○ チェックシートを使い、友だち工夫をチェックしてもらうことで、次の練習にいかす。</li> <li>○ 練習後、がんばったらもっとよくなることを言い、何度も練習をしてチェックシートの評価が上がることで、達成感をもてるようにする</li> </ul>                                | ○ 話し方の工夫を、自分の推薦にいかすことができた。<br>(原稿・観察) |
| 4 本時のまとめをする。  | ○ 活動の振り返りを書かせ、本時のまとめとする。   |                                       |

すいせんします③ 名前 ( )

① 私は、5年生のみなさんにおすすめの作家として、岡田淳さんをすいせんします。°

② 岡田淳さんは、1979年に『ムンジャクンジュユは毛虫じやない』というユニーマスが題名の物語で作家としてデビューしますが、実は2007年までは、作家のほかにもう1つ仕事をしていました。°何の仕事をしていたと思いますか？それは、小学校の図工の先生です。なんと？それは、図工の先生をしなから、物語を書いていたそうです。°

③ 特に私のおすすめの本は、『びりっかすの神様』です。°みなさんは、何かで自分が悲しい気持ちになつてしまつて、落ち込んだり、まかせんか。°私は小学生のときに漢字を覚えなれないのが苦手でした。°テストであまりよくなかった点数をとると、悲しい気持ちになつた。°このお話はそんな気持ちを吹き飛ばしてくれ、勉強でもスポーツでもビリになつた人にだけ見える、羽の生えた小さな不思議なおじさんを中心に、あるクラスに奇跡が起こります。私の好きなときに、みんなが一生懸命走る場面です。°この小さな不思議なおじさんのおかげで、クラスのみんなの気持ち一つになり、一位をとることよりも大切なことに気が付くのです。°

④ このように、岡田淳さんの本はわくわくしたり、読むと元気になつたりするところができます。°他には『二分間の冒険』、『フングリコングリ』、『ふしぎの時間割』などの作品もあります。°あなたもぜひ読んでみてください。°

☆話し方のポイント☆

○

○

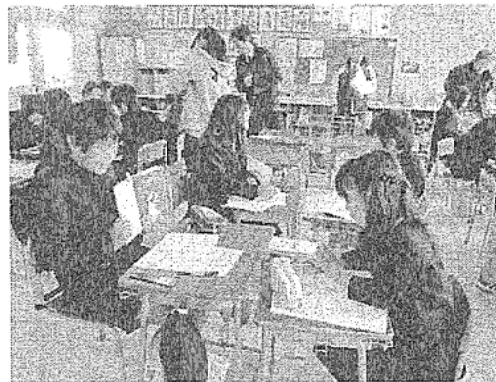
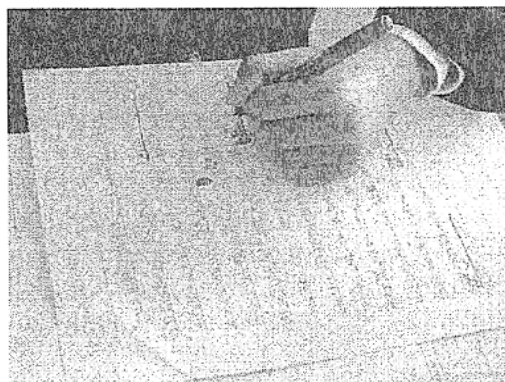
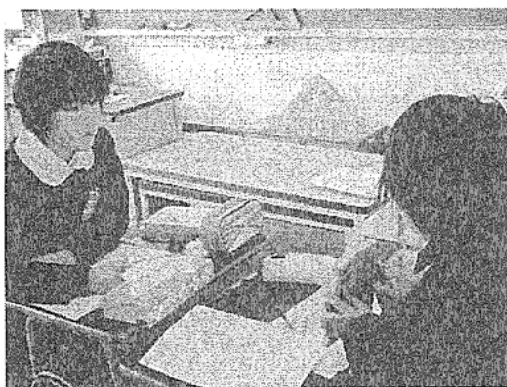
○

○まとめ (できるようになったこと、上達したこと、気をつけたこと等)

## 成果と課題

成果：○ 課題：●

- よくないモデルがあったので、話す速さ、目線などの視点をもつことができた。
- よくないモデルとよいモデルを両方だしたのは比較しやすくとてもよかった。よくないモデルからいい話し方をしたいという意欲につなげることができた。
- 児童の発言から、T1からT2に尋ねる形で工夫のポイントやその場所を確認することで理解を深めることができた。
- ポイントをまとめることで、話し方の工夫を絞って練習に取り組むことができた。
- この単元を図書館と連携した授業を作ることで、普段児童がどんな本や作家が好きなのかを知るきっかけとなったり、お互いの好きな本を推薦し合うことで新しい一面を発見したり、本への興味・関心を高めたりすることができた。
- よいモデルの前に原稿が配られていたので、実際にモデルを見せるときに、原稿に目がいつている児童がいき、話し方の工夫に気がつきにくかった。
- よいモデルを示した後、ワークシートに線を引かせたが、視覚的に見つけた工夫が線を引かせることによって出にくくなってしまった。
- すいせんの練習をするときに、総合評価を行ったが、お互いの評価規準をしっかりと明確にしておく必要がある。
- 見つけた工夫を黒板に簡潔にまとめることで、児童の理解を深めることができた。



1 主題名 「今、わたしにできることをしよう」4-(8) 国際理解  
(中心教材「ハチドリの一としづく」光文社)

2-① ねらい

諸外国での問題に目を向け、国際社会に貢献していこうという心情を養う。

2-② ねらいとする価値

現在世界では内戦や紛争など様々な問題が起こっている。日本も国際社会の一員として、それらの問題の解決のために貢献していく必要がある。日本の国際貢献を充実させるためには、国が積極的に支援政策を行うだけでなく、国民一人ひとりが世界の問題に目を向け、高い関心をもつことが大切である。国際社会に生きる意味を知り、自分にできることを積極的に行動しようとする意識を育み、世界の中で責任を果たそうとする意欲を育てたい。

3 児童の実態

児童はこれまで、毎年6年生が行っている物資支援活動を見てきた。そして、自分たちが6年生になると総合的な学習の時間に、世界で起こっている様々な問題について知ったり、それらを自分たちの生活(幸せ)に関連付けて考えたりしている。5月にはHG代表の田代さんの話を聞き、カンボジアへの支援活動の必要性をあらためて知った。6月の有森裕子さんの話では、国際社会を舞台に、自分たちの生き方や幸せを模索しながら自他共に輝いて生きることのすばらしさを学んだ。そして6月からNCCCとの交流を開始し、お互いのプロフィールを交換したり、交流相手の幸せを願った手作りのお守りを贈ったりした。さらに8月には、ただ募金箱を置くだけの募金活動ではなく、自分たちが実際に募金箱を持って立ち募金活動を行った。募金をしてもらえるようお願いをしたり募金をしてくれた人にお礼を言ったりすることで、支援活動をするこの大変さや充実感を味わった。

しかし、国際交流に対する意識や理解、かかわろうとする意欲には大きな個人差がある。本時を通して、日ごろ児童が感じている国際交流への思いを補充・進化・統合し、助け合って国際社会を生きていこうとする意識を育てたい。

4 教材観

中心教材である「ハチドリの一としづく」は、わずか17行の文章に世代を超えた共感の輪が広がっている物語である。本著は地球温暖化という環境問題をテーマとした物語であるが、筆者らがうたえている本質的要素は国際理解にもしっかりと通じるものがあると考え、中心教材として活用した。

6年生の児童は、客観的に自分自身を見つめたり、ある程度の見通しをもって物事を考えたりすることができるようになってきている。そのため、大きすぎる問題や困難すぎる課題に対して自分自身の無力感を感じるようになる。そして、ある問題に対して真剣に考えたり、議論したり、行動を起こしたりすることに大きな抵抗を感じるようになる。しかし、そのような無力感及び不信やあきらめを払拭すべく、「自分にできることをすればいい」ことを知り、「自分にもできることがある」という意識を育み、積極的に国際交流及び支援活動に取り組む姿勢を育てたい。

5 研究テーマと本時の関連

本校の研究テーマ「人・社会・自然など自分とのつながりに関心を持ち、主体的に関わろうとする子どもの育成」にせまるために、次のような手立てを工夫していく。

(1) 自分とのかかわり

○学習を通して培った考えや思いを今までの自分の生活と重ねて考えたり、「これからどうあればよいか」など、自分のかかわり方を考えたりして生活に活かすことができる。

・カンボジアの現状を知ったりカンボジアの人の気持ちを想像したりすることで、自分の生活を見直したり、「自分にできる」交流活動や支援活動を考え実践したりしていくことができるようにする。

○社会の一員としてまわりに働きかけながら自分ができる活動をしようとするすることができる。

・カンボジアの現状を知ったりカンボジアの人の気持ちを想像したりすることで、「自分たちにできる」交流活動や支援活動を、友だちと計画したり家庭や地域に協力を要請したりして実践していくことができるようにする。

・自分たちできることは微力であっても、さらに多くの人力が集結すれば大きな力になると認識することで、一人でも多くの人にカンボジアの現状を知ってもらい、その解決を目指す国際協力の必要性を社会全体で共有していくことができるようにする。

(2) 他者(人・社会・自然)とのかかわり

○相手の立場や気持ちを理解してかかわることができる。

・HGのスタッフの方のお話を聞いたり映像で交流したりすることで、交流活動や支援活動及び国際理解への思いや考えを知り、積極的に活動に取り組む意識を高める。

・NCCCの子どもたちと手紙や映像で交流するなど、「自分たちにできる」交流活動を展開することで、国際交流は難しいとする意識や抵抗感を無くし、能動的に交流活動に取り組む楽しさや充実感を味わうことができる。

| 学習活動   | 主な発問と児童の心の動き   | 指導上の留意点  |
|--|--|--|
| <p>1 世界の出来事を想起し、それに対する自分たちの取り組みについて話し合う。</p> | <p>○ 今、世界でどんな問題が起こっているか、知っていることはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に行けない子ども</li> <li>・人権問題</li> <li>・環境問題</li> <li>・貧しい暮らし</li> <li>・食料問題</li> <li>・地雷</li> <li>・エネルギー問題</li> <li>・内紛や紛争</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>今、わたしたちにできることをしよう</b></p> </div> <p>○ そのような国に対して、<u>私たちは</u>どんなことをしていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募金活動<br/>→六区夏祭りでは 24,856 円の募金</li> <li>・物資支援活動<br/>→昨年度、石けん 277 個/タオル 212 枚/歯ブラシ 252 本/子ども服 879 着/縄跳び 74 本/バレーボール 11 個/ (総数 1,705) 募金 34,590 円</li> <li>・交流活動<br/>→NCCC の 19 人の子どもたちと交流</li> </ul> </div> <p>○ それらは、カンボジアにおいてどれだけの効果があるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生的な生活を送って病気を予防して欲しい。</li> <li>・歯磨きをしてむし歯をなくして欲しい。</li> <li>・NCCC の人が本当に必要とする物を買いたい。</li> <li>・NCCC の人と仲良くなりたい。思いや願いを知って、できれば叶えたい。<br/>→だけれども、あまりにも少なすぎる。私たちのやっていることって効果があるのかな？役に立っているのかな？</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが現在取り組みでいる交流活動や支援活動を想起することにより、本時の方向付けをする。</li> <li>・自分たちが取り組んでいる交流活動や支援活動が、非常に微力な取り組みであることを知ることで、自分たちの取り組みの有効性や必要性について考えさせる。</li> </ul>  |
| <p>2 資料「ハチドリの一とせずく」を読んで話し合う。</p>             | <p>○ なぜ動物たちは、「<b>そんなことをしていったい何になるんだ</b>」と笑ったのでしょうか。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">意見①</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そんなことをしても効果がないから。</li> <li>・自分たちにはどうしようもないことだから。</li> <li>・やっても仕方ないことを続けてもむなしいから。</li> </ul> <p>○ クリキンディは何と答えたと思いますか？ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">意見②</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほっとくことはできない。</li> <li>・誰かがやらないといけない。</li> <li>・ほくはあきらめないぞ。</li> </ul> <p>◎ 「<b>私は、私にできることをしているだけ</b>」とは、どんなことを意味するのでしょうか。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">意見③</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちのできる限りのことでもいい。</li> <li>・大切なのは行動すること。</li> <li>・あきらめない。投げ出さない。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きすぎる問題に対しても、あきらめずに行動に移すことの難しさを確認し、クリキンディの気持ちを想像することで「何とかしたい」という気持ちや「行動する」ということが大切であることに気づかせる。</li> <li>・自分の能力以上の取り組みが求められるのではなく、自分のできる限りの範囲で取り組みればいいことを確認し、「できることをやってみよう」という気持ちで行動すればいいことに気づかせる。</li> </ul> |
| <p>3 これからの自分の取り組みについて考えさせる。</p>              | <p>○ 私たちの国際交流では、どのように取り組んでいきたいですか。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まとめ</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の出来る限りの範囲で国際交流を進めていきたい。</li> <li>・少しでも誰かの役に立っているのであれば、やっていることは無駄ではない。</li> <li>・少しずついいから、困っている人を助ける取り組みを進めていきたい。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの自分の取り組みを、具体的に考えることができるようにする。</li> </ul>   |
| <p>4 先生の話聞く。</p>                             | <p>○ 『「金の鳥—クリキンディ」について』を読む。</p>  |  |





# 岡山市立第三藤田小学校 ESDカレンダー 6年生

| 第6学年 | 4月                       | 5月            | 6月        | 7月         | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月           | 3月             |
|------|--------------------------|---------------|-----------|------------|----|----|-----|-----|-----|----|--------------|----------------|
| 国語   | 学級評議会しよう                 | よさこそまつだしたらの歌へ | 平和について考える |            |    |    |     |     |     |    |              |                |
| 社会   |                          |               |           |            |    |    |     |     |     |    | アジア太平洋に広がる戦争 | 世界の中の日本とわたしたち  |
| 算数   | ①                        | ②             | ③         |            |    |    |     |     |     |    | 資料の調べ方       |                |
| 理科   |                          |               |           |            |    |    |     |     |     |    |              | 私たちにできることを考えよう |
| 総合   | 『 幸 せ っ て 何 ？ 』          |               |           |            |    |    |     |     |     |    |              |                |
|      | 国際協力実践活動の計画を立てて、実践活動しよう。 |               |           |            |    |    |     |     |     |    |              |                |
| 国際理解 | B HG                     | C HG          | D HG      | E HG       |    |    |     |     |     |    | F HG         | G HG           |
| 道徳   | 世界が100人の国だらけ             | 異国に思いよせて      | 多文化共生社会と  | 紙型の中で身につけた |    |    |     |     |     |    | 外国から見た日本     |                |
| 家庭科  |                          |               |           |            |    |    |     |     |     |    |              | 考えよう！わたしたちの生涯  |

学習内容

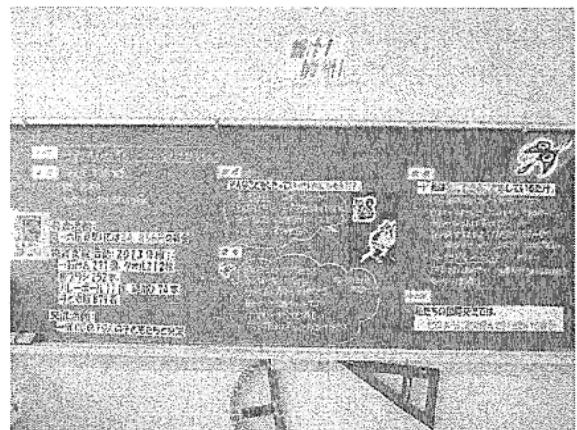
| 学習内容                                   | 学習内容                                 |
|--|--------------------------------------|
| A 世界の人の暮らしの様子や国について知る                  | 世界の人の暮らしの様子や国について知る                  |
| B 世界の国の状況について知る                        | 世界の国の状況について知る                        |
| C 他国との協力を進めよう                          | 他国との協力を進めよう                          |
| D アジアの真しの中で生活をしている子どもたち                | アジアの真しの中で生活をしている子どもたち                |
| E 生命がかけがいのないものであることを知り、自然の生命を尊重する。     | 生命がかけがいのないものであることを知り、自然の生命を尊重する。     |
| F 命のかけがいのないことを知り、自然の命を尊重しようとする心構えを育てる。 | 命のかけがいのないことを知り、自然の命を尊重しようとする心構えを育てる。 |
| G 自分たちの生涯を振り返り、よりよくするための工夫を考える。        | 自分たちの生涯を振り返り、よりよくするための工夫を考える。        |

学習内容

| 学習内容                    | 学習内容                  |
|-------------------------|-----------------------|
| ① 相手の意見を聞き取り、自分の主張を伝える。 | 相手の意見を聞き取り、自分の主張を伝える。 |
| ② 調べたことを、正しい文章でまとめる。    | 調べたことを、正しい文章でまとめる。    |
| ③ 意見文の書き方、スピーチの仕方を知る。   | 意見文の書き方、スピーチの仕方を知る。   |
| ④ 資料の読み方から必要な事を知る。      | 資料の読み方から必要な事を知る。      |
| ⑤                       |                       |
| ⑥                       |                       |
| ⑦                       |                       |

## 授業の成果と課題

- 本時は、6年生の総合的な学習の時間の単元構想でいう「つかむ」または「追求する」段階での実施であった。そのため総合的な学習の時間のクロスカリキュラムとして実施するならば、もう少し早い時期、「ふれる」段階で実施すべきという考え方もあった。
- 一方で、児童は目的意識を忘れて取り組んでいる様子もあったため、本来の目的に立ち返ることができる機会となった。また、自分たちの取り組みの有効性や必要性に対する懸念を払拭する上でも良い機会となった。
- 道徳ということで、授業始めに中心教材名だけ提示し、授業の後半である学習活動3の前に、サブタイトルとしてめあてを提示した。めあての提示が遅く、児童が何をすれば良いかわかりづらかった様子があった。道徳において、めあてを提示（または早い段階で提示）するという事に抵抗があったのだが、総合的な学習の時間のクロスカリキュラムとしての道徳と明確に位置づけて、早い段階からはっきりとめあてを提示し取り組んでいくべきであった。
- 学習活動1では、自分たちの取り組みの有効性や必要性についてしっかりと揺さぶりをかけて、心情面で葛藤をもたせたかった。最終的には、「何のために？どんな思いでこの活動に取り組んだの？」という発問で学習活動に臨んだが、心情面の葛藤をもたせるには不十分であった。
- 学習活動2では、クリキンディの心情をしっかりと想像して書くことができていた。一方で、心情を想像することが困難な児童もいた。そのため、グループにおける話し合い活動を取り入れてみても良かった。
- 学習活動3では、学習活動1での国際交流の振り返りから学習活動2の『ハチドリのひとしずく』の中心教材に移り、また国際交流にもどってまとめを書くという、一連の流れ、特にまとめへのつながりが難しかった。また、まとめでは何をどう書けばよいかわからなかった児童もいた。
- まとめはしっかりと自分たちが取り組んでいる活動に結びつけて書くことができていた。その一方で、時間がなく児童が発表する時間が設けられなかった。
- まとめでは、総合的な学習の時間との関係から『これからの自分たちの取り組み』について考えさせた。学習活動2で考えたクリキンディの心情を想像することで、「自分のできる限りで取り組めばいい」「できることからやっといこう」そして、「自分たちのできる範囲で国際交流を進めていこう」「少しでも誰かの役に立てばむだではない」という考えをもつことができた。
- 学習活動2の意見3及びまとめでの考え方は、6年生の総合的な学習の時間のテーマである「幸せって何？」の学習過程の最後まで意識にあり、国際交流や支援活動はもちろん、“幸せ”のあり方や実現の仕方についての考え方も強く影響を与えていた。
- 学習活動4では『金の鳥ークリキンディ』を読んだ。児童の関心にあった“燃えていたあの森はその後どうなったのか”について一応の結論が出ていたし、一人ひとりでは微力でもたくさんの方が集まれば不可能ではないという意味も含まれていたが、児童には少し難しかった。もっと具体的な内容を引用すべきであった。



④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

|                    |                    |                    |                    |                    |                    |                    |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> |
| <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> |
| <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> |
| <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> |
| <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> |
| <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> | <p>⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p> |

# 岡山市立第三藤田小学校 ESDカレンダー 4年生

| 第4学年 | 4月                                  | 5月                       | 6月            | 7月   | 8月          | 9月           | 10月  | 11月        | 12月        | 1月                                    | 2月         | 3月         |
|------|-------------------------------------|--------------------------|---------------|--|-------------|--------------|--|------------|------------|---------------------------------------|------------|------------|
| 国語   | 1つより多い字歌をしよう<br>①                   | 贈ったことと受けたこととを比べてみよう<br>② | 折れた紙のついで<br>③ | 新聞を作ろう<br>④  | 手と心で読む<br>⑤ | 聞き取りの工本<br>⑥ | アップヒルースで伝える<br>⑦                                     |            |            |                                       |            |            |
| 社会   | A<br>ごみばどこへいくの                      |                          |               |  |             |              |  |            |            |                                       |            |            |
| 算数   | B<br>手と心で読む                         |                          |               |  |             |              |  |            |            |                                       |            |            |
| 理科   | C<br>けんじのおすれ役                       |                          |               |  |             |              |  |            |            |                                       |            |            |
| 総合   | 『自然にやさしいまちづくり』<br>自然にやさしいまちづくりを考えよう |                          |               | 『自然にやさしいまちづくり』<br>自然にやさしいまちづくりの目的に<br>どんなことができるのか調べよう。 |             |              | 『自然にやさしいまちづくり』<br>人にやさしいまちづくりのために<br>どんなことができるのか調べよう |            |            | 『人にやさしいまちづくり』<br>人にやさしいまちづくり大作戦を進行しよう |            |            |
| 環境学習 | ゴミスクール<br>⑧                         | 明日製紙<br>⑨                | 築陽高校<br>⑩     | アムゴ<br>⑪   | アムゴ<br>⑫    | 築陽高校<br>⑬    | 築陽高校<br>⑭  | 岡田一啓樹<br>⑮ | 岡田一啓樹<br>⑯ | 岡田一啓樹<br>⑰                            | 岡田一啓樹<br>⑱ | 岡田一啓樹<br>⑲ |
| 道徳   | C<br>けんじのおすれ役                       |                          |               | D<br>富士山を救え  |             |              | H<br>本心誰かPEKの気持ち                                     |            |            | G<br>前へ進む                             |            |            |
| 音楽   | J                                   |                          |               |  |             |              |  |            |            |                                       |            |            |
| 学校行事 | PTA 福島回収                            |                          |               |  |             |              | PTA 福島回収   |            |            |                                       |            |            |

内容・心構え

| 記号 | 関連内容        |
|----|-------------|
| A  | ごみのしまつと活用   |
| B  | 目の不自由な人     |
| C  | ごみのしまつ      |
| D  | ごみ問題        |
| E  | 高齢者や体の不自由な人 |
| F  | 体の不自由な人     |
| G  | 体の不自由な人     |
| H  | バリアフリー      |
| I  | 地域への思い      |
| J  | リサイクル       |

技能確

| 記号 | 関連内容               |
|----|--------------------|
| ①  | 話し合いの仕方            |
| ②  | アンケートの取り方 報告書のまとめ方 |
| ③  | 新聞の作り方             |
| ④  | 資料の体系的な扱い方         |
| ⑤  | メモの取り方             |
| ⑥  | 折込封筒の書き方           |